

令和3年度
ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実証事業

交付申請の手引き

2021年4月

1. 申請にあたっての注意	2
2. 申請の流れ	3
3. 提出書類一覧	4
4. 申請書類の作成	
[1] 入力シート	7
[2] 提出書類チェックシート	12
[3] 交付申請書	
様式第1 交付申請書	13
別紙1 補助事業に要する経費、補助対象経費 及び補助金の額並びに区分ごとの配分	15
別紙2 暴力団排除に関する誓約事項	16
別紙3 役員名簿	17
別紙4 交付要件等同意書	18
[4] 実施計画書	
1. 申請者の詳細	19
2. 事業計画概要	20
3. システム提案概要(1)	23
3. システム提案概要(2)	32
4. 概略予算書	
4-1. 概略予算書(まとめ)	33
4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術 15項目に係わる経費)	34
4-3～6. 概略予算書(全体)～(3年目)	35
4-7. 参考見積書	37
別添1 システム概念図	38
別添2 WEBPRO未評価技術15項目システム 概念図	39
別添3 エネルギー計量計画図	40
[5] 図面	42
5. 交付申請書の提出	44

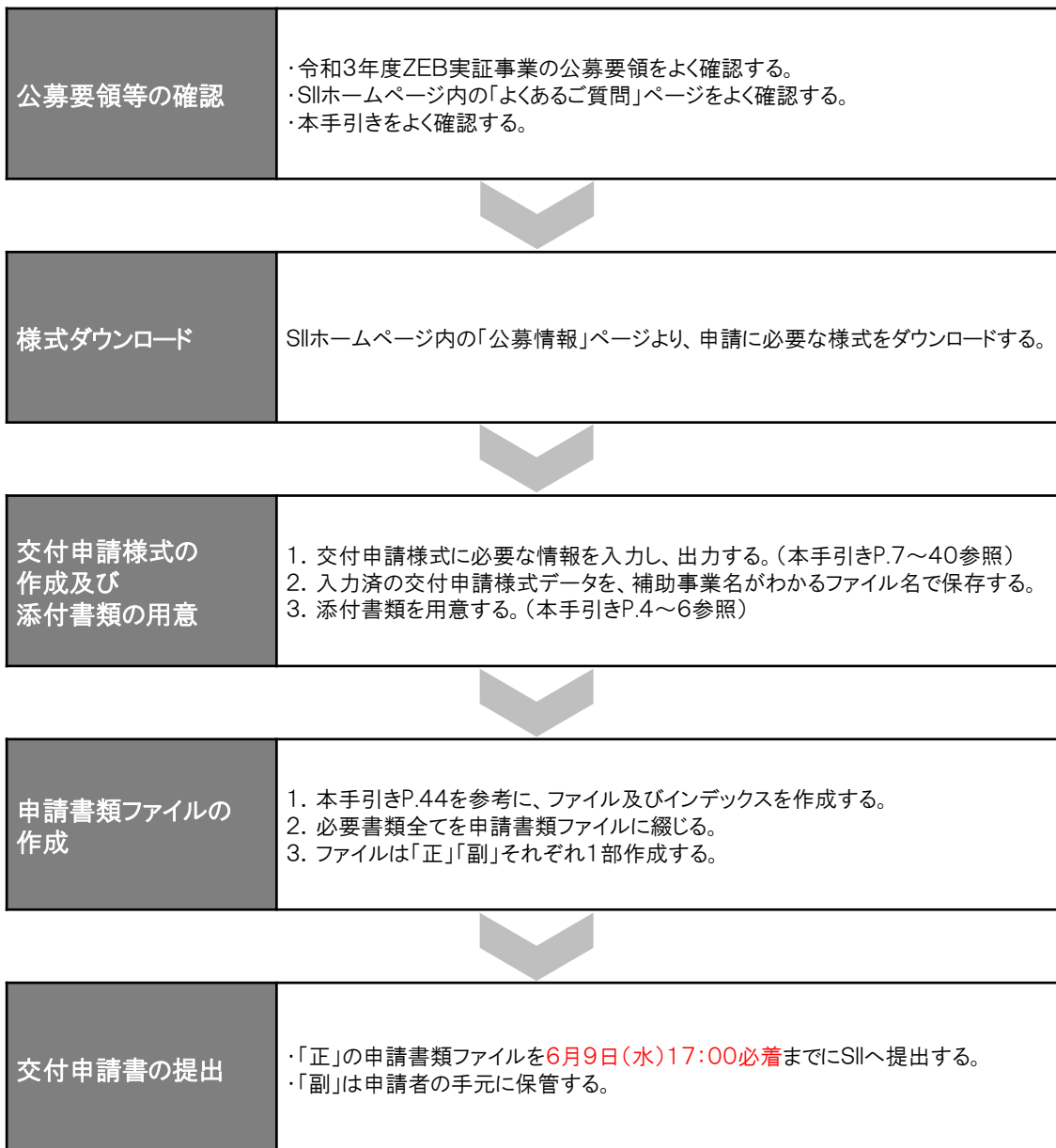
1. 申請にあたっての注意

- (1) 本手引きは、申請書の作成方法を主に掲載しています。公募要件等の詳細については、一般社団法人環境共創イニシアチブ(以下「SII」という)のホームページに掲載されている「公募要領」及び「よくあるご質問」をよくお読みください。
- (2) **提出書類を全て揃えた上で申請書を提出してください。**申請書に不備や不足がある場合、受理されないことがあります。「公募要領」や本手引きをよく読み、提出書類を全て揃えた上で申請書を提出してください。
- (3) 申請書類は返却しないため、必ず提出書類の副本を控えとして手元に保管してください。
- (4) 令和3年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実証事業の申請者がSIIに提出する書類は、**いかなる理由があってもその内容に虚偽があってはけません。**

【公募期間】

2021年5月17日(月)～2021年6月9日(水)17:00必着

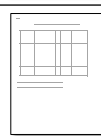
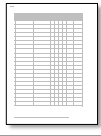
2. 申請の流れ



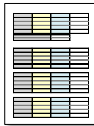
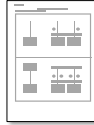
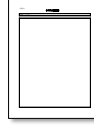
3. 提出書類一覧

- ◆交付申請には、以下の書類が必要です。指定の様式は、SIIのホームページ内の「公募情報」ページより、様式データをダウンロードしてください。
- ◆各書類を入力後、内容を確認して片面印刷し、申請書類ファイルにファイリングしてください。
- ・カラー出力の指定のある書類はカラーで、それ以外は黒色で印刷してください。
 - ・文字切れやフォーマット崩れがないか確認して提出してください。

(★:指定様式。交付申請様式Excelデータで作成)

No.	インデックス名	必須● 該当○	書類名	備考
1	①チェックシート	●	 提出書類チェックシート(4枚)★	全ての書類を作成し終わった後に、作成の抜けもれが無いのか、チェックシートを活用して確認
2	②交付申請書	●	 様式第1(1/2)★	押印不要
3		●	 様式第1(2/2)★	
4		●	 (別紙1) 補助事業に要する経費、補助対象 経費及び補助金の額並びに区分ご との配分★	
5		●	 (別紙2) 暴力団排除に関する誓約事項★	
6		●	 (別紙3) 役員名簿★	・共同申請の場合は、 全申請者分提出
7	③実施計画書	●	 (別紙4) 交付要件等同意書★	押印不要
8		●	 1. 申請者の詳細★	
9		●	 2. 事業計画概要(3枚)★	
10		●	 3. システム提案概要(1)★	A3カラーで出力
11		●	 3. システム提案概要(2)★	A3カラーで出力

3. 提出書類一覧

No.	インデックス名	必須● 該当○	書類名	備考
12	③実施計画書	●	 4-1. 概略予算書(まとめ)★	A4カラーで出力
13		●	 4-2. 概略予算書 (WEBPRO未評価技術15 項目に係わる経費)★	A4カラーで出力
14		●	 4-3～6. 概略予算書★ (全体)(1年目) (2年目)(3年目) (集計)/(内訳)	A4カラーで出力
15		●	 4-7. 参考見積書	当該年度の補助事業に係わる 部分の参考見積書を添付
16		●	 (別添1) システム概念図★	A4カラーで出力
17		●	 (別添2) WEBPRO未評価技術15項目 システム概念図★	
18		●	 (別添3) エネルギー計量計画図★	
19	④会社案内	●	 会社概要書	・「会社名」「代表者」「所在地」 が含まれるもの ・共同申請の場合は、 全申請者分提出
20	⑤商業登記簿等	●	 商業登記簿※ (現在事項全部証明書)	・発行から3か月以内のもの ・共同申請の場合は、全申請者 分提出 ・個人の場合は印鑑登録証明書 の写しを提出
21	⑥事業実績	●	 事業実績 (財務諸表・決算短信等) (個人の場合は確定申告書)	・直近3年分の単独決算を 提出(連結決算は不可) ・共同申請の場合は、 全申請者分提出
22	⑦建物登記簿等	●	 建物登記簿※ (現在事項証明書)	発行から3か月以内のもの
			確認済証	新築で未取得の場合は確認申 請書(写)を提出

3. 提出書類一覧

No.	インデックス名	様式	必須 該当○	申請書類名	備考
23	⑧土地登記簿等	写し	●	 土地登記簿※ (現在事項証明書)	発行から3か月以内のもの
			○	土地賃貸契約書	土地が賃貸の場合は提出
24	⑨ESCO契約書	自由書式	○	ESCO契約書(案)	ESCO利用で申請する場合は提出
25				ESCOサービス料計算書	
26	⑩リース契約書	自由書式	○	リース契約書(案)	リース等利用で申請する場合は提出
27				リース料計算書	
28	⑪認証制度	写し	○	ISO50001登録証	
29				ISO14000シリーズの登録証	
30	⑫建物図面	自由書式	●	 建物案内図 建物配置図 建物概要 建物平面図・各階平面図 建物立面図 断面図または矩計図	
31	⑬設計図 (機器表/系統図/ 平面図/仕様書等)	自由書式	●	外皮/空調/換気/照明/給湯/太陽光発電/コージェネレーション/BEMS/その他	設備工事ごとに編集しカラー印刷 (例)空調設備:機器表・系統図・平面図 照明設備:機器表・平面図
32	設備ごとに整理する		●	仕様書・カタログ	概略予算書に記入した設備について提出 (該当設備にマーキング)
33	⑭Web計算入力シート	WEB PROによる書式	●	 様式0. ～様式8.	
34	⑮Web計算結果		●	 計算結果	
35	⑯その他	自由書式	○		その他申請に必要な書類がある場合
36	⑰CD-R	-	●	 交付申請書様式データ	Excelデータ
		-	●	Web計算入力シート	Excelデータ

※登記簿は、WEB上の「登記簿情報提供サービス」により取得した情報の提出でも可

4. 申請書類の作成 [1] 入力シート

・記入事項の重複による申請書作成の煩雑さを避けるため、入力シートを設けています。
〈入力シート〉・〈入力シート2〉への入力内容が「交付申請書」や「実施計画書」の各欄へ自動反映されます。

・はじめに入力シートのすべての項目を入力してください。
入力上の注意は、本シートの「入力方法」欄に示されています。

・オレンジのセルは入力必須です。
グレーのセルは入力不要です。

・入力後、記入漏れや誤字等の不備がないか確認してください。

・全て黒字で入力してください。

本手引きP. 12以降の説明書きで、青で示しているものは、様式に直接入力が必要な項目です。

自動反映

本手引きP. 12以降の説明書きで、「自動反映」と示しているものは、〈入力シート〉〈入力シート2〉、[概略予算書]から自動反映される項目です。

〈入力シート〉1. 基本情報、2. 申請者情報

令和3年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業 交付申請書情報入力シート

〇〇〇株式会社関西支社ビルZ E B化事業

1. 基本情報

入力方法

管理情報	補助事業名称	〇〇〇株式会社関西支社ビルZ E B化事業	25字以内で入力
	事業期間区分	単年度	プルダウンから選択
	申請日	2021年5月17日	申請日を入力（西暦入力）
	当該年度事業完了日	2022年1月24日	2022年1月24日以前の日付を入力
	最終年度事業完了日	2022年1月24日	「当該年度事業完了日」と同一の日付を入力

2. 申請者情報

入力方法

申請者1	申請者名フリガナ		マルマルカブシキガイシャ	全角カタカナで入力
	申請者名		〇〇〇株式会社	共同申請の場合、申請者1が補助金受領
	法人番号		1234567890123	13桁半角数字で入力
	代表者	役職名	代表取締役	英字入力は不可
		フリガナ氏	カンキョウ	全角カタカナで入力
		フリガナ名	タロウ	全角カタカナで入力
		氏	環境	全角で入力
	所在地	名	太郎	全角で入力
		郵便番号	1040000	7桁半角数字を「-（ハイフン）」なしで入力
		都道府県	東京都	プルダウンから選択
		市区町村	中央区	全角で入力 市区町村（例 京都市中央区
		丁目・番地	〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇号	全角で入力 町域（例 相生町～
	建物名・部屋番号	建物名・部屋番号	-	全角で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		代表担当者	〇	代表担当者の場合、クリックして●を入れる
		所属部署	経営管理部施設課	全角で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		役職名	施設グループ長	全角で入力、英字入力不可 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		フリガナ氏	カンキョウ	全角カタカナで入力
	担当者	フリガナ名	コタロウ	全角カタカナで入力
		氏	環境	全角で入力
		名	小太郎	全角で入力
		郵便番号	1040000	7桁半角数字を「-（ハイフン）」なしで入力
		都道府県	東京都	プルダウンから選択
	担当者住所	市区町村	中央区	全角で入力 市区町村（例 京都市中央区
		丁目・番地	〇〇五丁目〇〇番地〇号	全角で入力 町域（例 相生町～
		建物名・部屋番号	-	全角で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		電話番号	03-0000-0000	半角数字を「-（ハイフン）」ありで入力
		携帯電話番号	090-0000-0000	半角数字を「-（ハイフン）」ありで入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
	担当者連絡先	メールアドレス	k-kankyo@zebzeb.co.jp	半角英数字で入力

以下へ自動反映されます。

[3]交付申請書

- ・様式第1 交付申請書
（本手引きP. 13～14参照）
- ・別紙4 交付要件等同意書
（本手引きP. 18参照）

[4]実施計画書

- ・1. 申請者の詳細
（本手引きP. 19参照）
- ・2. 事業計画概要(1/3)
（本手引きP. 20参照）
- ・3. システム提案概要(1)
（本手引きP. 23～27参照）
- ・3. システム提案概要(2)
（本手引きP. 32参照）

7

4. 申請書類の作成 [1] 入力シート

〈入力シート〉2. 申請者情報（共同申請の場合）

☐ 共同事業のため申請者2を入力
 ☐ にチェックを入れてください。

申請者2	申請者名フリガナ			全角カタカナで入力
	申請者名			
	法人番号			13桁半角数字で入力
	代表者	役職名		英字入力は不可
		フリガナ氏		全角カタカナで入力
		フリガナ名		全角カタカナで入力
		氏		全角で入力
		名		全角で入力
	所在地	郵便番号		7桁半角数字を「-（ハイフン）」として入力
		都道府県		プルダウンから選択
		市区町村		全角で入力 市区町村（例 京都市中京区
		丁目・番地		全角で入力 町域（例 相生町～
		建物名・部屋番号		全角で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		代表担当者	○	代表担当者の場合、クリックして●を入れる
	担当者	所属部署		全角で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		役職名		全角で入力、英字入力は不可 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		フリガナ氏		全角カタカナで入力
		フリガナ名		全角カタカナで入力
		氏		全角で入力
	担当者住所	名		全角で入力
		郵便番号		7桁半角数字を「-（ハイフン）」として入力
		都道府県		プルダウンから選択
		市区町村		全角で入力 市区町村（例 京都市中京区
		丁目・番地		全角で入力 町域（例 相生町～
担当者連絡先	建物名・部屋番号		全角で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択	
	電話番号		半角数字を「-（ハイフン）」ありで入力	
	携帯電話番号		半角数字を「-（ハイフン）」ありで入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択	
	メールアドレス		半角英数字で入力	

共同申請の場合に入力する項目です。
以下へ自動反映されます。

[3]交付申請書

- ・様式第1 交付申請書
(本手引きP.13参照)
- ・別紙4 交付要件等同意書
(本手引きP.18参照)

「4」実施計画書

- ・1. 申請者の詳細
(本手引きP. 19参照)

〈入力シート〉3. 事業計画概要

3.事業計画概要			入力方法	
事業計画概要	建物全体	建築工事契約日	2021年3月23日	確定していない場合は予定日を入力
		建築工事着手日	2021年3月25日	確定していない場合は予定を入力
		竣工予定日	2022年2月28日	予定日を入力
	当該年度	補助対象工事契約予定日	2021年7月31日	
		補助対象工事着手予定日	2021年8月15日	
		補助対象工事了完了予定日	2022年1月20日	
		補助対象工事の引渡し完了予定日	2022年1月20日	
		補助対象工事に関する全ての支払い完了予定日	2022年1月24日	予定日を入力
		省エネルギー性能評価の認証取得予定日	2021年10月1日	
		ZEBリーディング・オーナー登録申請予定日	2021年10月1日	
		BEMS報告サイトの設定完了予定日	2021年12月1日	2021年1月25日以前の日付を入力
		最終年度	補助対象工事了完了予定日	2022年1月20日
	資金調達計画	補助事業の遂行に係わる融資計画の有無	あり	フルダウンから選択
		融資契約予定時期	2021年8月下旬	入力例 2021年8月下旬 フルダウンから選択
	他の補助金	補助対象建築物に対する担保権設定予定の有無	あり	フルダウンから選択 (予定を含む)
		他の補助金の有無	あり	フルダウンから選択 (予定を含む)
		他の補助金名	令和3年○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○補助金(経済産業省)	補助金の正式名称と官公庁名等を入力
その他実施上の留意事項		なし	詳細を入力 該当ない場合はフルダウンから「なし」を選択	
契約予定	ESCO	なし	フルダウンから選択	
	リース	なし	フルダウンから選択	
記録制度	ISO50001	取得状況	なし	フルダウンから選択
		適用規格	なし	フルダウンから選択
	ZEBプランナー	登録状況	登録申請中	入力不要 フルダウンから選択
		法人名	株式会社●○○●	全角で入力 入力不要
	ZEBリーディング・オーナー	登録番号	登録予定	フルダウンから選択 未登録の場合は「登録予定」を選択
		法人名	○○○株式会社	建物所有者名を入力 入力不要

以下へ自動反映されます。

「4」実施計画書

- ・2. 事業計画概要(1/3)
(本手引きP. 20参照)

以下へ自動反映されます。

[4]実施計画書

- ・3. システム提案概要(1)
(本手引きP. 23～27参照)

4. 申請書類の作成 [1] 入力シート

〈入力シート〉4. 建物情報

4.建物情報			入力方法
建物概要	建築物の名称	〇〇〇株式会社関西支社ビル	
	所在地	郵便番号	6008000
		都道府県	京都府
		市区町村	京都市
		丁目・番地	〇〇区〇〇通〇〇町〇〇
	地域区分	6地域	補助対象建築物の地域区分を入力/プルダウンから選択
	延べ面積	12,071.23	WEB計算入力シートの延べ面積の値を小数第2位まで入力
	建築面積	2,260.13	WEB計算入力シートの建築面積の値を小数第2位まで入力
	工事種別	新築	プルダウンから選択
	主な構造	RC造	プルダウンから選択
	階数	地下	1 半角数字で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		地上	7 半角数字で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
		塔屋	- 半角数字で入力 ない場合はプルダウンから「-」を選択
	Z E B 竣工予定年	2022	西暦4桁半角数字で竣工予定年を入力
	既存建築物竣工年		西暦4桁半角数字で竣工年を入力
	CLT	CLT採択枠	対象外 プルダウンから選択
		CLT使用部位	入力不要
		CLT使用割合	入力不要
評価対象	CASBEE	CLT使用割合	入力不要
		評価認証	なし 第三者機関による認証取得状況をプルダウンから選択
		評価認証取得予定時期	入力不要
		自己評価	なし 自己評価結果(地方自治体含む)又は予定をプルダウンから選択
	評価対象	評価予定時期	入力不要
		評価対象	1 棟評価 プルダウンから選択
		対象延べ面積	12,071.23 小数第2位まで入力
		申請対象面積比率	100.00% 評価対象延べ面積に対する申請対象延べ面積比率を小数第3位以下切り捨て入力
	用途	用途数	単一 プルダウンから選択
		主たる用途	事務所等 プルダウンから選択
		用途説明	事務所 プルダウンから選択 (先に主たる用途を選択すること)

以下へ自動反映されます。

[4]実施計画書

・3. システム提案概要(1)

(本手引きP. 23～27参照)

4. 申請書類の作成 [1] 入力シート

＜入力シート＞5. エネルギー情報

5.エネルギー情報

※以下に入力する値はWeb計算プログラムの計算結果と整合をとること。

I

一次エネルギー消費量【I】		1棟評価値 (ZEB Ready以上)	プルダウンから選択
PAL*基準値	PAL*	470	(MJ/m ² 年)
一次エネルギー消費量 (MJ/年)	空調	6,762,220	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	換気	348,330	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	照明	2,860,890	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	給湯	86,600	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	昇降機	72,000	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
【基準値】	エネルギー利用効率化設備	0	半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	コージェネ	0	半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	PV	0	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
その他	1,033,610	(MJ/m ² 年)	
PAL*設計値	PAL*	304	
一次エネルギー消費量 (MJ/年)	空調	3,623,750	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	換気	176,040	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	照明	918,040	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	給湯	54,200	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	昇降機	64,000	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
【設計値】	エネルギー利用効率化設備	0	半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	コージェネ	-403,580	半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	PV	1,033,610	半角数字で0もしくはプラスの値を入力
PVの使用の方法		系統連系 (充電しない)	プルダウンから選択

II

一次エネルギー消費量【II】		-	プルダウンから選択
一次エネルギー消費量 (MJ/年)	空調		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	換気		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	照明		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	給湯		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	昇降機		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
【基準値】	エネルギー利用効率化設備		半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	コージェネ		半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	PV		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
その他			
一次エネルギー消費量 (MJ/年)	空調		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	換気		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	照明		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	給湯		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
	昇降機		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
【設計値】	エネルギー利用効率化設備		半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	コージェネ		半角数字で0もしくはマイナスの値を入力
	PV		半角数字で0もしくはプラスの値を入力
その他			

以下へ自動反映されます。

[4]実施計画書
・3. システム提案概要(1)
(本手引きP. 23～28参照)

IとIIは申請内容によって
入力内容が異なります。
下図を参照し、適切な数値を
入力してください。

NO.3の場合、また申請ケースが
いずれにも当てはまらない場合は
SIへご相談ください。

＜申請ケースに合わせた I、II それぞれへの入力内容について＞

NO.	評価対象	ZEBランク	一次エネルギー消費量	
			【I】	【II】
1	1棟評価	『ZEB』 Nearly ZEB ZEB Ready	評価対象の数値を入力する	入力しない
2		ZEB Oriented (建物用途が1つの場合)	評価対象(削減率40%以上または30%以上の用途)の数値を入力する	入力しない
3		ZEB Oriented (建物用途が2つの場合)	評価対象(削減率40%以上の用途)の合計数値を入力する	評価対象(削減率30%以上の用途)の合計数値を入力する
4	建物用途評価	『ZEB』 Nearly ZEB ZEB Ready ZEB Oriented	評価対象の数値を入力 (評価対象の用途が複数の場合は、最も延べ面積比率の高い用途の数値を入力)	建物全体の数値を入力する (20%以上の省エネ部分)

4. 申請書類の作成 [1] 入力シート

〈入力シート2〉

全国主要省・自治区・エネルギー基本計画策定事業「次世代高効率省エネシステム」																		
BEMS設置																		
※BEMSの管理点数合計は、計測・計数点、制御・監視に要する点数を含めたものと見てください。																		
計画導入年度	10	分単位	管理点数合計	97	エネルギー計量点合計	91	環境計量点合計	6	点									
QWEPRO未評価技術15項目																		
採用技術	導入技術			導入技術	導入技術			導入技術	導入技術									
① CO2濃度による外気換気制御	●	●	●	① ハイパット給湯システム等														
② 自然換気システム	●	●	●	① 給湯ヒートポンプ														
③ 空調設備制御の高度化	●	●	●	② オートヘルプ方式					●									
④ 空調設備制御の高度化 (VAV、過圧調整等制御)	●	●	●	③ ユーザーインターフェースの高度化														
⑤ 冷却設備ファンベクトル制御	●	●	●	④ 自然換気システム					●									
⑥ 照明のソーシング制御	●	●	●	⑤ 超高効率変圧器					●									
⑦ プリクーリング	●	●	●	⑥ 熱回収ヒートポンプ					●									
⑧ デシカント空調システム	●	●	●															
⑨ ケーブルトランスシステム	●	●	●															
QZEB実用のコンセプト																		
建築物のエネルギー特性	当該ビルは結晶シリコン、建築物の北側を半地下とし、天然の放射熱を利用した。 事務所用途の建物であり、「空調」「照明」のエネルギー消費量が全体の80%強を占めている。 当該ビルの前面には、平屋と4階以上あり、季節、時間帯により遮蔽度が発生するので、自然換風に利用が可能である。																	
ZEB実用のコンセプト	〇〇株式会社関係会社であるZEBを実用するにあたり、第一に社会性の強化や自然の恩恵や自然資源を活用したハイパースタイル建築により建築物全体のエネルギー負荷削減を図る。 第二に、上記の取組みだけでなく様々なエネルギー負荷については、高効率空調・照明・給湯設備の導入によって、さらなるエネルギー削減を図る。 未評価技術の取組みでは、ハイパースタイルとしての「自然換気システム」採用や、アクティブなZEB技術では、①CO2濃度による外気換気制御/高度化等採用し、ZEB化実現に大きく貢献をさせる。 また、BEMSの導入によりエネルギー消費状況をリアルタイムで評価することで運用によるエネルギー削減を実現する。 こうしたエネルギー削減技術の取組みにより、建築物エネルギー消費量が大幅に削減可能なこと、ZEB化の真価に大きく貢献する。																	
QZEBの実現に資する省エネ技術																		
※評価・システムを念頭に力を入れてください。																		
省エネ項目	No.	技術名	方式等	システム概要 (能力・性能・規模・他)	削減	補助												
建築物エネルギー性能 (パッシブ) 技術	1	自然換気システム	地下化、半地下化	結晶シリコン、1階全面を半地下化	新設	該												
	2	自然換気システム	外気導入	グラスウール断熱材、24K、熱伝導率λ=0.038 W/(m・K)、厚み: 50mm	新設	該												
	3	自然換気システム	外気導入	グラスウール断熱材、24K、熱伝導率λ=0.038 W/(m・K)、厚み: 100mm	新設	該												
	4	自然換気システム	Low-E複層ガラス (断熱ガラス)	ES+Ar12+PL5 (N-E-S-W両面)、熱伝導率 U=1.6W/(m ² ・K)、日射熱取得率: 0.313	新設	該												
	5	自然換気システム	自然換気	アルミ複層ガラス断熱ガラス 4mm6分所、幅6分所	新設	該												
内部発熱削減技術	1	換気電力削減システム	—	換気用、防犯用や企業として重要な機器を24:00〜6:00間のコンベント回路をOFF	新設	—												
	2	自然換気システム	ヒートポンプ (HP)	消費電力: 95.0kW、電圧: 105.0kW、定額COP=3.62、定額COP=3.9、外気温度(室内) 57℃(室内) 20℃	新設	該												
	3	自然換気システム	バックアップシステム	消費電力: 7.1kW、電圧: 8.0kW、定額COP=4.36、定額COP=4.79等、合計36台(室内) 44台(室内)	新設	該												
	4	自然換気システム	自然換気システム	熱交換率: 67%、合計17台	新設	該												
	5	自然換気システム	自然換気システム	熱交換率: 71%、合計7台	新設	該												
I 空調設備	1	自然換気システム	自然換気システム	風速: 500m3/h、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	2	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	3	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	4	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	5	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
II 照明設備 (省エネ) 技術	1	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	2	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	3	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	4	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
	5	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台	新設	該												
III 照明設備 (人工照明) 技術	1	自然換気システム	自然換気システム	自然換気システム、最大風速能力: 3.82kg/h、最大風速能力: 7.12kg/h、合計9台														

以下へ自動反映されます。

[4]実施計画書

- ・3. システム提案概要(1)
(本手引きP. 29～31参照)

4. 申請書類の作成 [2] 提出書類チェックシート

提出書類チェックシート

提出ファイル形式、書式等の確認

1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000

書類の抜けや、記載ミスがないか、申請者自身がよく確認のうえ、「申請者確認」欄にチェックを入れてください。該当しない場合は斜線「/」を入れてください。

4. 申請書類の作成 [3] 交付申請書

様式第1 交付申請書

様式第1

1 2021 年 5 月 17 日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 村上 孝 殿

申請者1 住 2 東京都中央区〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇号

名 称 〇〇〇株式会社

代表者等名 代表取締役 環境 太郎

申請者2 住 2

名 称

代表者等名

申請者3 住 2

名 称

代表者等名

令和3年度 住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)
交付申請書

住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)交付規程(以下「交付規程」という。)第4条の規定に基づき、以下のとおり経済産業省からの住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金に係る補助事業の補助金の交付を申請します。

なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令(昭和30年政令第255号)及び交付規程の定めるところに従うことを承知の上、申請します。

1(自動反映)

公募期間内の日付を入力してください。
➤修正する場合は入力シートへ

2(自動反映)

- 【住所/名称/代表者等名】
- ・略称等を使用せず商業登記簿と整合のとれる内容を全角で入力してください。
 - ・パソコン入力時に旧字で変換できない場合、代替の新字体で入力してください。
- 【代表者等名】
- ・「役職名」「氏名」の順に入力してください。

※共同申請の場合は、全ての申請者情報を入力し、「申請者1」には補助金の支払を受ける申請者を入力してください。

➤修正する場合は入力シートへ

4. 申請書類の作成 [3] 交付申請書

様式第1 交付申請書

記

1

1. 補助事業の名称
〇〇〇株式会社関西支社ビルZEB化事業

2

2. 補助事業の目的及び内容
昨年創業200周年を迎えた弊社は記念として老朽化した本社ビルを建て替え、新本社をZEB化ビルとして建設した。今後省エネルギー建築物への取組みに力を注ぐ一環として、弊社保有の全支社ビルのZEB化を目指し、関西支社ビルの建替えを行うこととした。
本補助事業により省エネ設備・システム等を積極的に導入し、さらなるZEB化を進める。ZEB認証取得後は社外向けのホームページ、会社案内等へ掲載し、ZEB化ビルのPRへより一層努めていく。

3

3. 補助事業の実施計画
別添の実施計画書による

3

4. 補助金交付申請額(当年度分)

(1) 補助事業に要する経費	232,911,403 円
(2) 補助対象経費	148,478,060 円

4

5. 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の額並びに区分ごとの配分(別紙1)

4

6. 補助事業の開始及び完了予定日

(1) 開始年月日	: 交付決定日
(2) 完了予定年月日	: 2022年1月24日
(最終事業完了予定日)	: 2022年1月24日

(注) この申請書には、以下の書面を添付すること。
(1) 申請者の経理の状況及び補助事業に係る資金計画を記載した書面
(2) 申請者が申請者以外の者と共同して補助事業を行おうとする場合にあっては、当該事業に係る契約書の写し
(3) 暴力団排除に関する誓約事項(別紙2)
(4) 申請者の役員名簿(別紙3)
(5) その他一般社団法人 環境共創イニシアチブが指示する書面

(備考) 用紙は日本産業規格A4とし、縦位置とする。

1(自動反映)

- ・建物名称を付けるなど、事業を特定できる25文字以内の分かりやすい名称にしてください。
- ・仮称などの表現は使用できません。
- ・ESCO事業は「ESCO」の文字を必ず含めてください。

➤ 修正する場合は入力シートへ

2

- ・補助事業の目的と内容を入力してください。
- ・印刷時に文字切れがないか確認してください。

3(自動反映)

「概略予算書(まとめ)」の「概略予算書(1年目)」の合計額が自動反映されます。

4(自動反映)

【完了予定年月日】

- ・単年度事業
2022年1月24日以前の日付
- ・複数年度事業
2022年2月21日以前の日付

【最終事業完了予定日】

- ・単年度事業
2021年度の事業完了日と同日
- ・2年度事業
2023年1月25日以前の日付
- ・3年度事業
2024年1月25日以前の日付

➤ 修正する場合は入力シートへ

4. 申請書類の作成 [3] 交付申請書

別紙1 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の額並びに区分ごとの配分

(別紙1) 補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の額並びに区分ごとの配分 (単位:円)

補助対象 経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助率 (参考値)	補助金の額 (参考値)
設計 1	6,710,000	5,510,000	2/3	3,673,333
設備費	123,770,063	110,868,060		73,912,040
工事費	102,431,340	32,100,000		21,400,000
合 計	232,911,403	148,478,060		98,985,373

※補助金額(補助対象経費区分ごと)は、小数点以下(1円未満)を切り捨てとする。

(備考)用紙は日本産業規格A4とし、縦位置とする。

1(自動反映)

「4-1. 概略予算書(まとめ)」の内容が自動反映されます。
「補助事業に要する経費」「補助対象経費」の各金額が一致していることを確認してください。

4. 申請書類の作成 [3] 交付申請書

別紙2 暴力団排除に関する誓約事項

(別紙2)

暴力団排除に関する誓約事項

当社(個人である場合は私、団体である場合は当団体)は、補助金の交付の申請をするに当たって、また、補助事業の実施期間内及び完了後においては、下記のいずれにも該当しないことを誓約いたします。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

(1) 法人等(個人、法人又は団体をいう。)が、暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成9年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)であるとき又は法人等の役員等(個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。)が、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき。

(2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき。

(3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。

(4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

(備考)用紙は日本産業規格A4とし、縦位置とする。

誓約事項を全て確認し、記載内容について了承したうえで、提出してください。

4. 申請書類の作成 [3] 交付申請書

別紙3 役員名簿

[illegible]

氏名と会社名と役職名は商業登記簿（現在事項全部証明書）と整合のとれる内容を全角で入力してください。

- ・役員全員(監査役含む)を入力してください。
- ・商業登記簿上にはない役員を入力する場合は、役員であることがわかる書類を添付してください。
- ・入力時に旧字で変換できない場合、代替の新字体で入力してください。

【氏名カナ/漢字】

- ・姓と名の間を全角で1マス空けてください。
- ・外国人については、氏名漢字欄は商業登記簿に記載のとおりに入力し、氏名カナ欄はカナ読みを入力してください。

【生年月日】

- ・和暦はプルダウンから選択してください。
(大正はT、昭和はS、平成はH)
- ・年月日の数字は全角2桁で入力してください。

4. 申請書類の作成 [3] 交付申請書

別紙4 交付要件等同意書

(別紙4)

交付要件等同意書

以下の同意事項の内容に同意します。

	同意欄
1. 交付要件について 本事業の交付要件と交付規程について、全て確認し、了承している。	1 ☒
2. 暴力団排除について (別紙2)の暴力団排除に関する誓約事項について熟読し、理解の上、これに了承している。	☒
3. 事業期間について 交付決定通知を受けた後に本事業を開始することを了承している。 補助金に係る工事の完了及び工事代金の支払が事業期間内に完了しなかった場合、交付決定の取り消しとなる場合があることを了承している。	☒ ☒
4. 提出書類一式について 申請書、中間報告書、実績報告書及び添付書類一式について責任をもち、虚偽、不正の記入を行わないことを了承している。	☒
5. 補助対象建築物のZEBに資する設計情報ならびに実施状況報告の情報開示について 建築物者エネルギー法第7条に基づく省エネルギー性能表示(BELS等、第三者認証を受けているものに限り)により「ZEB」、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented いずれかの省エネルギー性能評価の認証を、本事業(R3年度)の事業完了までに受けることを了承している。	☒
6. 事業の広報について SIIIはZEBの普及を促進するため、補助事業者からのZEBに資する情報をセミナー、ホームページ等で引用、紹介する場合があることを了承している。	☒
7. ZEBリーディング・オーナー登録について 補助事業として採択された後、補助事業者(共同申請の場合は建築主)は、本事業(R3年度)の事業完了までに「ZEBリーディング・オーナー」に登録完了することを了承している。	☒
8. gBizINFO(ジービズインフォ)掲載について 補助金の交付決定等に関する情報(事業者名、採択日、交付決定日、法人番号、交付決定額等)について、gBizINFO(ジービズインフォ)に原則掲載されることを了承している。	☒
9. 実施状況の報告について 補助事業完了後、事業完了後1年間(新築、増築及び改築の建築物が補助対象の事業は2年間)のエネルギー使用状況と、ZEBに資する技術の導入効果等を分析、自己評価して、「実施状況報告書」及び「BEMS計測データ(ロードデータ)」をSIIIに提出しなければならないことを了承している。	☒
10. 財産処分制限期間と適化法について 補助対象となる設備等には財産処分の制限期間があり交付規程第25条2項、制限期間内に処分(売却、譲渡、交換、貸与、廃棄、担保提供)を行う場合は、あらかじめ財産処分承認申請書をSIIIに提出しその承認を受けなければならないが、万一、未承認のまま財産処分が行われた場合、交付決定を取り消し、補助金の返還(交付規程第18条4項)となる可能性があることを了承している。	☒
11. 複数年度事業について 本年度の交付決定は、翌年度以後の交付決定を保証するものではないことを了承している。 翌年度以後において公募予算額を超える申請があった場合には、補助金額が減額される(状況によっては交付決定されない)場合がある。その場合でも、原則、竣工まで事業を継続すること、及び、途中で事業を中止した場合には、原則として既に交付した補助金の返還が必要となる場合があることを了承している。	※複数年度事業の場合のみチェックしてください。 ☐ ☐

※必ず申請者自身で内容をよく確認したうえで同意欄にチェックを入れてください。
※同意欄のチェックに不足がある場合は、交付申請を受理できませんので予めご了承ください。

以上の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認し、以下の署名をお願いします。

申請者1	名 称	代表者等名
申請者2	名 称	代表者等名
申請者3	名 称	代表者等名

1

申請者が同意事項を確認し、了承したうえでチェックを入れてください。

※単年度事業の場合は「11.複数年度事業について」のチェックは不要です。

2(自動反映)

入力シートの入力内容が自動反映されます。

押印不要

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

1. 申請者の詳細

実施計画書

1. 申請者の詳細

(1) 申請者概要

1

フリガナ	マルマルカブシキカイシャ		
申請者名	〇〇株式会社		
法人番号(13桁)	1234567890123		
代表者役職	代表取締役		
フリガナ	カンキョウ		タロウ
代表者	氏 環境	名 太郎	
住 所	〒 104-0000 都道府県 東京都 市区町村 中央区 〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇号		

(2) 申請者の業務実績に関する事項 (直近1年間の業務実績) (単位: 円)

2

事業報告期間	2020 年 4 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日	
資産合計	9,962,715,000	売上高 6,119,450,330
負債合計	1,022,240,000	経常利益 744,641,900
純資産合計	8,940,475,000	当期純利益 324,710,000

(3) 補助事業担当者情報

3

代表担当者	← 共同申請の場合、本補助事業の代表担当者に丸印がついていること		
所属部署	経営管理部施設課		
担当者役職	施設グループ長		
フリガナ	カンキョウ		コタロウ
担当者	氏 環境	名 小太郎	
住 所	〒 104-0000 都道府県 東京都 市区町村 中央区 〇〇五丁目〇〇番地〇号		
電話番号	03-0000-0000		
携帯電話番号	090-0000-0000		
E-MAIL	k-kankyo@zebzeb.co.jp		

(注) 共同申請の場合は、各申請者分記載し、本ページの後ろに添付すること

1(自動反映)

- 【申請者名/フリガナ/代表者役職/代表者】
- ・「様式第1」と内容が同一であることを確認してください。
- 【法人番号】
- ・国税庁「法人番号公表サイト」で公表されている法人番号を、半角数字で入力してください。
- 【郵便番号】
- ・半角数字で入力してください。
 - ・住所と紐付いた正しい郵便番号を入力してください。
- 【住所】
- ・略称等を使用せず商業登記簿と整合のとれる内容を全角で入力してください。
 - ・住所が地方政令都市にある場合、市を「市区町村」に、区以降を下段に入力してください。
 - ・住所が郡にある場合、郡を「市区町村」に、町名以降を下段に入力してください。
- * 入力時に旧字で変換できない場合、代替の新字体で入力してください。
- 修正する場合は入力シートへ

2

直近1年分の財務諸表(上場企業は期末の決算短信)に記載されている金額を入力してください。

3(自動反映)

- ・本事業の申請について内容を理解しており、SIからの問い合わせ等に対応できる方を実務担当者としてください。
 - ・共同申請の場合、代表担当者欄に○印がついていることを確認してください。
 - ・SIからの送付物、電話連絡、メール等は全て担当者経由で行われます。各項目をよくご確認の上、入力してください。
 - ・キャリアメールは使用できません。
- 修正する場合は入力シートへ

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

2. 事業計画概要(1/3)

2. 事業計画概要

(1) 事業実施予定年月日

補助事業開始日	1	交付決定日
当該年度事業完了日		2022年1月24日
最終年度事業完了日		2022年1月24日

【建物全体の事業実施予定年月日】

建築工事契約日	2	2021年3月23日
建築工事着手日		2021年3月25日
竣工予定日		2022年2月28日

【当該年度の事業実施予定年月日】

補助対象工事契約予定日		2021年7月31日
補助対象工事着手予定日		2021年8月15日
補助対象工事完了予定日		2022年1月20日
補助対象工事の引渡し完了予定日		2022年1月20日
補助対象工事に関する全ての支払い完了予定日		2022年1月24日
省エネルギー性能評価の認証取得予定日		2021年10月1日
ZEBリーディング・オーナー登録申請予定日		2021年10月1日
BEMS報告サイトの設定完了予定日		2021年12月1日

【最終年度の事業実施予定年月日】

補助対象工事完了予定日		2022年1月20日
-------------	--	------------

(2) 資金調達計画

補助事業の遂行に係わる融資計画の有無	2	あり
融資契約予定時期		2021年8月下旬
補助対象建築物に対する担保権設定予定の有無		あり

(3) 他の補助金に関する事項

3	他の補助金の有無(予定を含む)	あり
他の補助金名	令和3年○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○補助金(経済産業省)	
その他実施上の留意事項	なし	

(4) ESCO/リースの契約予定

ESCO	2	なし
リース		なし

1(自動反映)

「様式第1 交付申請書」の6. 補助事業の開始及び完了予定日と一致するか確認してください。

➤ 修正する場合は入力シートへ

2(自動反映)

事業実施予定年月日等を入力してください。

➤ 修正する場合は入力シートへ

3(自動反映)

【他の補助金名】

他の補助金を併用する予定、または既に利用している場合、補助金の正式名称とその官公庁名を入力してください。

【その他実施上の留意事項】

補助金利用に際して留意事項がある場合は入力してください。

➤ 修正する場合は入力シートへ

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

2. 事業計画概要(2/3)

(5) 事業実施スケジュール

<2021年度>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 建築工事												
業者選定、契約												
建築・設備設計												
補助対象工事												
補助対象外工事												

<2022年度>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 建築工事												
業者選定、契約												
建築・設備設計												
補助対象工事												
補助対象外工事												

<2023年度>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 建築工事												
業者選定、契約												
建築・設備設計												
補助対象工事												
補助対象外工事												

1

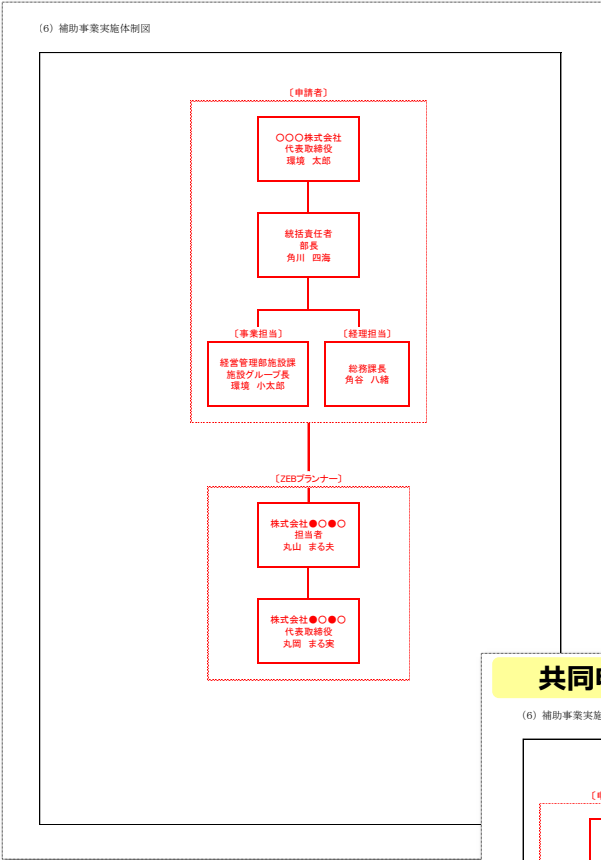
- ・ ■■■ (図形)等を使用して工事スケジュールを作成し、以下の日付(具体的な日付)を必ず明示してください。行が足りない場合は、行を挿入し作成してください。
 - ◇補助対象工事完了日
 - ◇支払完了日
 - ◇BELS取得完了予定日
 - ◇ZEBリーディング・オーナー登録完了予定日
 - ◇BEMS報告サイト設定完了予定日
- ・ 工事完了日と支払完了日は「実施計画書」の2. 事業計画概要(1/3)と整合がとれていることを確認してください。

【事業実施スケジュールの注意点】

- ・ 公募要領P. 37記載の「3-9 補助事業の完了」をよく確認すること。
- ・ 複数年度事業の場合、事業完了後、次年度の交付決定までの間に補助対象に係る工事着手、補助対象工事に係る支払いを行わないこと。

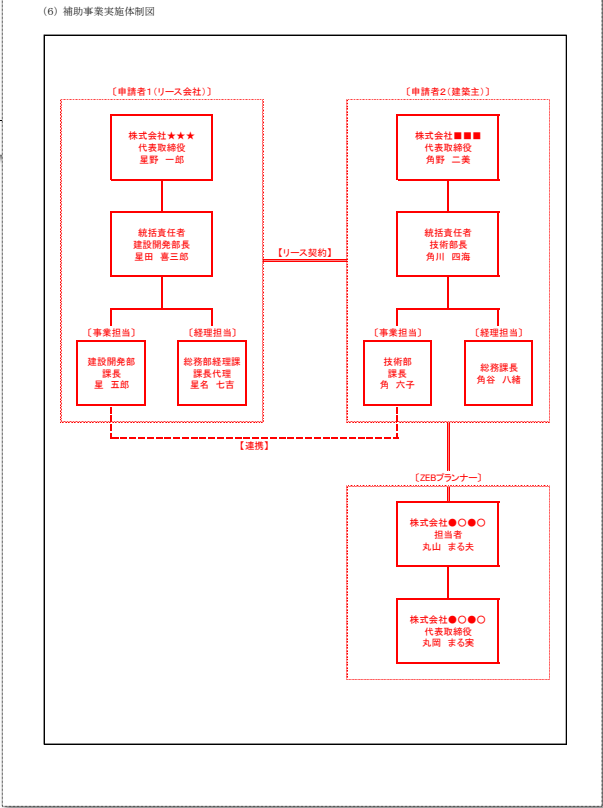
4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

2. 事業計画概要(3/3)



- 次の点に注意して作成してください。
- ・事業実施体制を図で示してください。
 - ・建物所有者・土地所有者・設備所有者も記載してください。
 - ・ZEBプランナーの関与の仕方が分かるように作成してください。
 - ・プロポーザルコンペ事業の場合は、その事業実施体制を示してください。

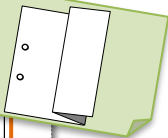
共同申請の場合



4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)

A3カラー片面で印刷し、A4縦に折り込んでください。



3. システム提案概要(1)

令和3年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実証事業

[illegible]

B		A		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC		AD		AE		AF		AG		AH		AI		AJ		AK		AL		AM		AN		AO		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV		AW		AX		AY		AZ		BA		BB		BC		BD		BE		BF		BG		BH		BI		BJ		BK		BL		BM		BN		BO		BP		BQ		BR		BS		BT		BU		BV		BW		BX		BY		BZ		CA		CB		CC		CD		CE		CF		CG		CH		CI		CJ		CK		CL		CM		CN		CO		CP		CQ		CR		CS		CT		CU		CV		CW		CX		CY		CZ		DA		DB		DC		DD		DE		DF		DG		DH		DI		DJ		DK		DL		DM		DN		DO		DP		DQ		DR		DS		DT		DU		DV		DW		DX		DY		DZ		EA		EB		EC		ED		EE		EF		EG		EH		EI		EJ		EK		EL		EM		EN		EO		EP		EQ		ER		ES		ET		EU		EV		EW		EX		EY		EZ		FA		FB		FC		FD		FE		FF		FG		FH		FI		FJ		FK		FL		FM		FN		FO		FP		FQ		FR		FS		FT		FU		FV		FW		FX		FY		FZ		GA		GB		GC		GD		GE		GF		GG		GH		GI		GJ		GK		GL		GM		GN		GO		GP		GQ		GR		GS		GT		GU		GV		GW		GX		GY		GZ		HA		HB		HC		HD		HE		HF		HG		HH		HI		HJ		HK		HL		HM		HN		HO		HP		HQ		HR		HS		HT		HU		HV		HW		HX		HY		HZ		IA		IB		IC		ID		IE		IF		IG		IH		IJ		IK		IL		IM		IN		IO		IP		IQ		IR		IS		IT		IU		IV		IW		IX		IY		IZ		JA		JB		JC		JD		JE		JF		JG		JH		JI		JJ		JK		JL		JM		JN		JO		JP		JQ		JR		JS		JT		JU		JV		JW		JX		JY		JZ		KA		KB		KC		KD		KE		KF		KG		KH		KI		KJ		KK		KL		KM		KN		KO		KP		KQ		KR		KS		KT		KU		KV		KW		KX		KY		KZ		LA		LB		LC		LD		LE		LF		LG		LH		LI		LJ		LK		LM		LN		LO		LP		LQ		LR		LS		LT		LU		LV		LW		LX		LY		LZ		MA		MB		MC		MD		ME		MF		MG		MH		MI		MJ		MK		ML		MN		MO		MP		MQ		MR		MS		MT		MU		MV		MW		MX		MY		MZ		NA		NB		NC		ND		NE		NF		NG		NH		NI		NJ		NK		NL		NM		NN		NO		NP		NQ		NR		NS		NT		NU		NV		NW		NX		NY		NZ		OA		OB		OC		OD		OE		OF		OG		OH		OI		OJ		OK		OL		OM		ON		OO		OP		OQ		OR		OS		OT		OU		OV		OW		OX		OY		OZ		PA		PB		PC		PD		PE		PF		PG		PH		PI		PJ		PK		PL		PM		PN		PO		PP		PQ		PR		PS		PT		PU		PV		PW		PX		PY		PZ		QA		QB		QC		QD		QE		QF		QG		QH		QI		QJ		QK		QL		QM		QN		QO		QP		QQ		QR		QS		QT		QU		QV		QW		QX		QY		QZ		RA		RB		RC		RD		RE		RF		RG		RH		RI		RJ		RK		RL		RM		RN		RO		RP		RQ		RR		RS		RT		RU		RV		RW		RX		RY		RZ		SA		SB		SC		SD		SE		SF		SG		SH		SI		SJ		SK		SL		SM		SN		SO		SP		SQ		SR		SS		ST		SU		SV		SW		SX		SY		SZ		TA		TB		TC		TD		TE		TF		TG		TH		TI		TJ		TK		TL		TM		TN		TO		TP		TQ		TR		TS		TT		TU		TV		TW		TX		TY		TZ		UA		UB		UC		UD		UE		UF		UG		UH		UI		UJ		UK		UL		UM		UN		UO		UP		UQ		UR		US		UT		UU		UV		UW		UX		UY		UZ		VA		VB		VC		VD		VE		VF		VG		VH		VI		VJ		VK		VL		VM		VN		VO		VP		VQ		VR		VS		VT		VU		VV		VW		VX		VY		VZ		WA		WB		WC		WD		WE		WF		WG		WH		WI		WJ		WK		WL		WM		WN		WO		WP		WQ		WR		WS		WT		WU		WV		WW		WX		WY		WZ		XA		XB		XC		XD		XE		XF		XG		XH		XI		XJ		XK		XL		XM		XN		XO		XP		XQ		XR		XS		XT		XU		XV		XW		XX		XY		XZ		YA		YB		YC		YD		YE		YF		YG		YH		YI		YJ		YK		YL		YM		YN		YO		YP		YQ		YR		YS		YT		YU		YV		YW		YX		YY		YZ		ZA		ZB		ZC		ZD		ZE		ZF		ZG		ZH		ZI		ZJ		ZK		ZL		ZM		ZN		ZO		ZP		ZQ		ZR		ZS		ZT		ZU		ZV		ZW		ZX		ZY		ZZ	
B		A		C		D		E		F		G		H		I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S		T		U		V		W		X		Y		Z		AA		AB		AC		AD		AE		AF		AG		AH		AI		AJ		AK		AL		AM		AN		AO		AP		AQ		AR		AS		AT		AU		AV		AW		AX		AY		AZ		BA		BB		BC		BD		BE		BF		BG		BH		BI		BJ		BK		BL		BM		BN		BO		BP		BQ		BR		BS		BT		BU		BV		BW		BX		BY		BZ		CA		CB		CC		CD		CE		CF		CG		CH		CI		CJ		CK		CL		CM		CN		CO		CP		CQ		CR		CS		CT		CU		CV		CW		CX		CY		CZ		DA		DB		DC		DD		DE		DF		DG		DH		DI		DJ		DK		DL		DM		DN		DO		DP		DQ		DR		DS		DT		DU		DV		DW		DX		DY		DZ		EA		EB		EC		ED		EE		EF		EG		EH		EI		EJ		EK		EL		EM		EN		EO		EP		EQ		ER		ES		ET		EU		EV		EW		EX		EY		EZ		FA		FB		FC		FD		FE		FF		FG		FH		FI		FJ		FK		FL		FM		FN		FO		FP		FQ		FR		FS		FT		FU		FV		FW		FX		FY		FZ		GA		GB		GC		GD		GE		GF		GG		GH		GI		GJ		GK		GL		GM		GN		GO		GP		GQ		GR		GS		GT		GU		GV		GW		GX		GY		GZ		HA		HB		HC		HD		HE		HF		HG		HH		HI		HJ		HK		HL		HM		HN		HO		HP		HQ		HR		HS		HT		HU		HV		HW		HX		HY		HZ		IA		IB		IC		ID		IE		IF		IG		IH		IJ		IK		IL		IM		IN		IO		IP		IQ		IR		IS		IT		IU		IV		IW		IX		IY		IZ		JA		JB		JC		JD		JE		JF		JG		JH		JI		JJ		JK		JL		JM		JN		JO		JP		JQ		JR		JS		JT		JU		JV		JW		JX		JY		JZ		KA		KB		KC		KD		KE		KF		KG		KH		KI		KJ		KK		KL		KM		KN		KO		KP		KQ		KR		KS		KT		KU		KV		KW		KX		KY		KZ		LA		LB		LC		LD		LE		LF		LG		LH		LI		LJ		LK		LM		LN		LO		LP		LQ		LR		LS		LT		LU		LV		LW		LX		LY		LZ		MA		MB		MC		MD		ME		MF		MG		MH		MI		MJ		MK		ML		MN		MO		MP		MQ		MR		MS		MT		MU		MV		MW		MX		MY		MZ		NA		NB		NC		ND		NE		NF		NG		NH		NI		NJ		NK		NL		NM		NN		NO		NP		NQ		NR		NS		NT		NU		NV		NW		NX		NY		NZ		OA		OB		OC		OD		OE		OF		OG		OH		OI		OJ		OK		OL		OM		ON		OO		OP		OQ		OR		OS		OT		OU		OV		OW		OX		OY		OZ		PA		PB		PC		PD		PE		PF		PG		PH		PI		PJ		PK		PL		PM		PN		PO		PP		PQ		PR		PS		PT		PU		PV		PW		PX		PY		PZ		QA		QB		QC		QD		QE		QF		QG		QH		QI		QJ		QK		QL		QM		QN		QO		QP		QQ		QR		QS		QT		QU		QV		QW		QX		QY		QZ		RA		RB		RC		RD		RE		RF		RG		RH		RI		RJ		RK		RL		RM		RN		RO		RP		RQ		RR		RS		RT		RU		RV		RW		RX		RY		RZ		SA		SB		SC		SD		SE		SF		SG		SH		SI		SJ		SK		SL		SM		SN		SO		SP		SQ		SR		SS		ST		SU		SV		SW		SX		SY		SZ		TA		TB		TC		TD		TE		TF		TG		TH		TI		TJ		TK		TL		TM		TN		TO		TP		TQ		TR		TS		TT		TU		TV		TW		TX		TY		TZ		UA		UB		UC		UD		UE		UF		UG		UH		UI		UJ		UK		UL		UM		UN		UO		UP		UQ		UR		US		UT		UU		UV		UW		UX		UY		UZ		VA		VB		VC		VD		VE		VF		VG		VH		VI		VJ		VK		VL		VM		VN		VO		VP		VQ		VR		VS		VT		VU		VV		VW		VX		VY		VZ		WA		WB		WC		WD		WE		WF		WG		WH		WI		WJ		WK		WL		WM		WN		WO		WP		WQ		WR		WS		WT		WU		WV		WW		WX		WY		WZ		XA		XB		XC		XD		XE		XF		XG		XH		XI		XJ		XK		XL		XM		XN		XO		XP		XQ		XR		XS		XT		XU		XV		XW		XZ		YA		YB		YC		YD		YE		YF		YG		YH																																																																																													

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

次ページ以降、A～Fの手引きを参照ください。

※申請ケース(本手引きP.10)によりA、Bは記入内容が異なります。以下もあわせてご確認ください。

【ZEB Ready 以上】申請ケース 1

[illegible]

【ZEB Oriented】申請ケース 2・3

A

P. 24 参照

⑤ 評価対象：対象延べ面積（1棟）

用途評価対象が単一の場合は、Iのみに記

申請ケース 4

A

P. 27
参照

B

P. 28
参照

WEBPRO 対象用途
データC(※)

WEBPRO 建物全体
データ

1棟評価(ZEB Oriented)で複数用途建築物の場合、また申請内容がいずれにも当てはまらない場合はSIIへご相談ください。

(※)建物用途評価対象の用途が複数の場合、最も比率の高い用途の面積のWEBPROデータを記入すること

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)A

【1棟評価】の場合

A

①事業情報									
補助事業名					〇〇〇株式会社関西支社ビルZEB化事業				
事業期間					単年度				
②事業者情報									
補助事業者名					〇〇〇株式会社				
ISO50001					なし				
ISO14000シリーズ					なし				
③ZEBプランナー									
登録状況					登録申請中				
法人名					株式会社●●●				
登録番号					-				
④建物概要(非住宅部分)									
名称									
〇〇〇株式会社関西支社ビル									
住所									
〒 800-8000 都道府県 京都府 市区町村 京都市									
丁目・番地									
〇〇区〇〇通〇〇町〇〇									
地域区分									
6地域									
延べ面積									
12,071.23 m ²									
建築面積									
2,280.13 m ²									
工事種別									
新築									
主な構造									
RC造									
地下 1 階 地上 7 階 塔屋 1 階									
ZEB竣工予定年									
2022 年									
既存建築物竣工年									
-									
CLT採択枠									
対象外									
CLT使用割合									
-									
CLT使用部位									
-									
CASBEE評価									
なし									
取得予定時期									
-									
CASBEE自己評価									
なし									
評価予定時期									
-									
⑤評価対象(非住宅部分)									
評価対象									
1棟評価									
対象延べ面積									
12,071.23 m ²									
申請対象面積比率									
100.00 %									
用途数									
単一									
主たる用途									
事務所等									
用途説明									
事務所									

- 1(自動反映)
- ISO50001、ISO14000シリーズの認証取得の有無を入力してください。
- 2(自動反映)
- ・すでにZEBプランナーとして登録済の場合、登録番号を入力してください。

・登録申請中の場合は、登録申請中のZEBプランナーの法人名を入力してください。
- 3(自動反映)
- 補助対象建築物がCLTを活用した建築物の場合、CLTの使用部位を入力してください。

※詳細は(別添1)システム概念図に概要を説明し、使用割合については別途資料を添付してください。
- 4(自動反映)
- CASBEE評価認証

・第三者機関によるCASBEE評価認証を取得した場合、取得情報を入力してください。

CASBEE自己評価

・CASBEEの自己評価を行った場合、その結果を入力してください。
- 5(自動反映)
- 1棟評価で複数用途建築物を申請する場合は、主たる用途の情報を入力してください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)B

【1棟評価 (ZEB Ready以上)】の場合

B

⑨導入効果

計算方法：H28年基準 (WEBプログラム)

設備用途区分	1 1棟評価 (ZEB Ready以上)					1※ 基準				
	基準値 (MJ/年)	設計値 (MJ/年)	削減量 (MJ/年)	削減率 (%)	BEI	基準値 (MJ/年)	設計値 (MJ/年)	削減量 (MJ/年)	削減率 (%)	BEI
空調	6,762,220	3,823,780	3,138,470	46.4%	0.54	0	0	0	-	-
換気	348,330	176,040	172,290	49.4%	0.51	0	0	0	-	-
照明	2,860,890	918,040	1,942,850	67.9%	0.33	0	0	0	-	-
給湯	86,800	54,200	32,400	37.4%	0.63	0	0	0	-	-
昇降機	72,000	64,000	8,000	11.1%	0.89	0	0	0	-	-
エネルギー利用効率化設備	0	0	0	-	-	0	0	0	-	-
その他	0	-403,580	403,580	-	-	0	0	0	-	-
PVを含む	1,033,610	1,033,610	0	-	-	0	0	0	-	-
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	925	463	472	-	-	-	-	-	-	-
PVを含む、その他を除く	10,130,040	4,432,450	5,697,590	56.2%	0.44	0	0	0	-	-
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	840	368	472	-	-	-	-	-	-	-
PVを考慮せず、その他を除く	10,130,040	4,836,030	5,294,010	52.2%	0.48	0	0	0	-	-
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	840	401	439	-	-	-	-	-	-	-
PVを考慮せず、その他を含む	11,163,650	5,889,840	5,294,010	47.4%	0.53	0	0	0	-	-
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	925	487	439	-	-	-	-	-	-	-

⑩PAL* 評価

基準値 (MJ/(m ² ・年))	設計値 (MJ/(m ² ・年))	削減率 (%)
470	304	35.3%

⑪事業費 (全体)

項目	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	6,710,000	5,510,000	1,200,000
設備費	123,770,063	110,888,080	12,902,003
工事費	102,431,340	32,100,000	70,331,340
合計	232,911,403	148,478,080	84,433,343
同上m ² 単価 (円/m ²)	19,295	12,301	6,995

⑫未評価技術費用 (全体)

合計		
2,308,000	2,259,000	50,000

⑬費用対効果 (PVを含む、その他を除く)

補助事業に要する経費 (円/(GJ・年))	補助対象経費 (円/(GJ・年))
40,474	25,864

⑭ZEBチャート

1 (自動反映)

プルダウンから「1棟評価 (ZEB Ready以上)」を選択してください。

1※ (自動反映)

入力不要な項目です。プルダウンから「-」を選択してください。

2 (自動反映)

1棟評価のWeb計算結果と一致する値 (MJ/年) を入力してください。⑩ZEBチャートに反映されます。

3 (自動反映)

エネルギー利用効率化設備 (PV) を導入する場合、用途を選択してください。

4 (自動反映)

「4-2. 概略予算書 (WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費)」の内容が自動反映されます。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)B

【1棟評価（ZEB Oriented）】の場合

※1棟評価の複数用途建築物でZEB Orientedを申請する場合は、以下の手順で入力後、SIIへご連絡ください

1

2

3

4

1※

2※

①導入効果					②ZEBチャート				
計算方法：H28年基準(WEBプログラム)					一次エネルギー削減率				
設備用途区分	【Ⅰ】1棟評価(ZEB Oriented 削減率40%以上用途)				【Ⅱ】1棟評価(ZEB Oriented 削減率30%以上用途)				
	基準値 (MJ/年)	設計値 (MJ/年)	削減率 (%)	BEI	基準値 (MJ/年)	設計値 (MJ/年)	削減率 (%)	BEI	
空調	4,130,643	2,548,702	38.2%	0.67	5,173,191	3,221,138	37.7%	0.63	
換気	213,527	127,012	40.5%	0.51	507,357	428,998	15.4%	0.85	
照明	1,752,394	651,994	62.7%	0.38	2,808,675	1,288,642	50.6%	0.50	
給湯	58,904	42,337	28.1%	0.72	863,642	639,867	26.9%	0.75	
昇降機	44,178	39,318	10.9%	0.89	130,547	116,187	10.9%	0.89	
エネルギー利用効率化設備	0	0	0	-	0	0	0	-	
その他	3,044,188	3,044,188	0	-	0	0	0	-	
PVとその他を含む	9,243,834	6,165,658	33.2%	0.67	9,283,412	5,894,920	36.8%	0.62	
同上 原単位 (MJ/㎡・年)	788	511	35.3%	0.67	770	472	38.7%	0.62	
PVを含む、その他を除く	6,199,646	3,121,470	49.6%	0.51	9,283,412	5,894,920	36.8%	0.62	
同上 原単位 (MJ/㎡・年)	514	259	50.0%	0.51	770	472	38.7%	0.62	
PVを考慮せず、その他を除く	6,199,646	3,409,364	45.0%	0.55	9,283,412	5,894,920	36.8%	0.62	
同上 原単位 (MJ/㎡・年)	514	283	45.0%	0.55	770	472	38.7%	0.62	
PVを考慮せず、その他を含む	9,243,834	6,453,552	30.1%	0.70	9,283,412	5,894,920	36.8%	0.62	
同上 原単位 (MJ/㎡・年)	788	535	32.2%	0.70	770	472	38.7%	0.62	

【原単位】【ZEBチャート】【費用対効果】自動計算のため、不適当な数値が表示されます。そのままの状態ですIIへご連絡ください。

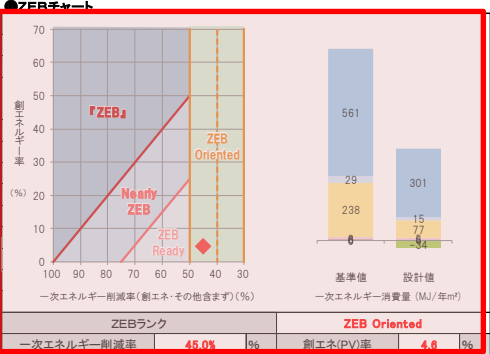
③PAL*評価		
基準値 (MJ/㎡・年)	設計値 (MJ/㎡・年)	削減率 (%)
470	304	35.3%

④事業費(全体)			
項目	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	6,710,000	6,010,000	700,000
設備費	198,307,577	191,437,754	6,869,823
工事費	95,704,583	88,010,359	7,694,194
合計	300,722,130	285,458,113	15,264,017
同上㎡単位(円/㎡)	24,913	23,648	1,265

⑤未評価技術費用(全体)			
合計	7,218,000	4,872,000	2,346,000

⑥費用対効果(PVを含む、その他を除く)	
補助事業に要する経費 (円/㎡・年)	補助対象経費 (円/㎡・年)
95,351	91,154

⑦ZEBチャート



ZEBランク		ZEB Oriented	
一次エネルギー削減率	45.0%	削減率(PV)率	4.6%

1(自動反映)

プルダウンから「1棟評価(ZEB Oriented 削減率40%以上用途)」(「1棟評価(ZEB Oriented 削減率30%以上用途)」)を選択してください。

1※(自動反映)

プルダウンから「1棟評価(ZEB Oriented 削減率30%以上用途)」(「1棟評価(ZEB Oriented 削減率40%以上用途)」)を選択してください。
※建物用途評価対象が単一用途の場合は入力不要です。「-」を選択してください。

2(自動反映)

選択したZEB Oriented削減率40%(30%)の各用途の合計値(MJ/年)を入力してください。(各用途のWebの計算結果と一致する値となるようにしてください。)

2※(自動反映)

選択したZEB Oriented削減率30%(40%)の各用途の合計値(MJ/年)を入力してください。(各用途のWeb計算結果と一致する値となるようにしてください。)

3(自動反映)

エネルギー利用効率化設備(PV)を導入する場合、用途を選択してください。

4(自動反映)

「4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費)」の内容が自動反映されます。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)A

【建物用途評価】の場合

A

①事業情報

補助事業名	〇〇〇株式会社関西支社ビルZEB化事業		事業期間	単年度	
-------	---------------------	--	------	-----	--

②事業者情報

補助事業者名	〇〇〇株式会社				
ISO50001	なし		ISO14000シリーズ	なし	

③ZEBプランナー

登録状況	登録申請中	法人名	株式会社●〇●〇		登録番号	-	
------	-------	-----	----------	--	------	---	--

④建物概要

名称	〇〇〇株式会社関西支社ビル												
住所	〒	600-8000	都道府県	京都府	市区町村	京都市							
	丁目・番地	〇〇区〇〇通〇〇町〇〇											
地域区分	6地域	延べ面積	12,071.23		m ²	建築面積	2,200.13		m ²	工事種別	新築		
主な構造	RC造	地下	1階	地上	5階	塔屋	0階	ZEB竣工予定年	2022	年	既存建築物竣工年	-	年
CLT採択枠	対象外	CLT使用割合	-		%	CLT使用部位	-		-	-	-	-	
CASBEE評価	なし	取得予定時期	-		CASBEE自己評価	なし		評価予定時期	-				

⑤評価対象(非住宅部分)

評価対象	建物用途評価		対象延べ面積	7,363.00		m ²	対象延べ面積に対する割合	60.99		%		
用途数	複数		主たる用途	事務所等		用途説明	事務所					

1(自動反映)

ISO50001、ISO14000シリーズの認証取得の有無を入力してください。

2(自動反映)

- ・すでにZEBプランナーとして登録済の場合、登録番号を入力してください。
- ・登録申請中の場合は、登録申請中のZEBプランナーの法人名を入力してください。

3(自動反映)

補助対象建築物がCLTを活用した建築物の場合、CLTの使用部位を入力してください。
※詳細は(別添1)システム概念図に概要を説明し、使用割合については別途資料を添付してください。

4(自動反映)

【CASBEE評価認証】

- ・第三者機関によるCASBEE評価認証を取得した場合、取得情報を入力してください。

【CASBEE自己評価】

- ・CASBEEの自己評価を行った場合、その結果を入力してください。

5(自動反映)

建物用途評価で複数用途建築物を申請する場合は、最も延べ面積比率の高い建物用途(申請対象)の情報を入力してください。

【申請対象面積比率】

- ・比率は評価対象延べ面積に対する申請対象延べ面積比率を計算して入力してください。(小数第3位以下切り捨て)

27

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)B 【建物用途評価】の場合

B

①導入効果

計算方法: H28年基準(WEBプログラム)

1

1※

2

2※

3

設備用途区分	【Ⅰ】 建物用途評価 (比率の高い用途)					【Ⅱ】 建物用途評価 (建物全体)				
	基準値 (MJ/年)	設計値 (MJ/年)	削減量 (MJ/年)	削減率 (%)	BEI	基準値 (MJ/年)	設計値 (MJ/年)	削減量 (MJ/年)	削減率 (%)	BEI
空調	4,130,843	2,548,702	1,581,941	38.2%	2※	9,304,329	5,770,149	3,534,180	37.9%	0.83
換気	213,527	127,012	86,515	40.5%	0.60	720,933	556,049	164,884	22.8%	0.78
照明	1,752,394	851,894	1,100,400	62.7%	0.38	4,381,318	1,940,758	2,420,560	55.5%	0.45
給湯	58,904	42,337	16,567	28.1%	0.72	922,629	682,385	240,274	26.0%	0.74
昇降機	44,178	40,305	3,873	8.7%	0.92	174,737	156,503	18,234	10.4%	0.90
エネルギー利用効率化設備	0	0	0	-	-	0	0	0	-	-
自家消費	0	-287,893	287,893	-	-	0	-287,893	287,893	-	-
その他	3,044,188	3,044,188	0	-	-	3,828,626	3,828,626	0	-	-
PVとその他を含む	9,243,834	6,106,845	3,077,189	33.2%	0.67	19,312,572	12,846,548	6,466,025	34.5%	0.66
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	766	511	255	-	-	1,600	1,048	553	-	-
PVを含む、その他を除く	6,199,646	3,122,457	3,077,189	49.6%	0.51	15,483,946	8,817,921	6,666,025	43.0%	0.57
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	514	259	255	-	-	1,283	731	553	-	-
PVを考慮せず、その他を除く	6,199,646	3,410,350	2,789,296	44.9%	0.56	15,483,946	9,105,815	6,378,131	41.1%	0.59
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	514	283	232	-	-	1,283	755	529	-	-
PVを考慮せず、その他を含む	9,243,834	6,454,538	2,789,296	30.1%	0.70	19,312,572	12,934,441	6,378,131	33.0%	0.67
同上 原単位 (MJ/(m ² ・年))	766	535	232	-	-	1,600	1,072	529	-	-

②PAL+評価

基準値 (MJ/(m ² ・年))	設計値 (MJ/(m ² ・年))	削減率 (%)
470	304	35.3%

③事業費(全体)

項目	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	6,710,000	5,510,000	1,200,000
設備費	123,770,063	110,868,080	12,902,003
工事費	102,431,340	32,100,000	70,331,340
合計	232,911,403	148,478,080	84,433,343
同上m ² 単価 (円/㎡)	19,295	12,301	6,995

④未評価技術費用(全体)

合計
2,308,000

⑤費用対効果 (PVを含む、その他を除く)

補助事業に要する経費 (円/(GJ・年))	補助対象経費 (円/(GJ・年))
74,940	47,518

⑥ZEBチャート

1(自動反映)

プルダウンから「建物用途評価(比率の高い用途)」を選択してください。

1※(自動反映)

プルダウンから「建物用途評価(建物全体)」を選択してください。

2(自動反映)

建物用途評価対象用途のうち、最も延べ面積比率の高い建物用途(申請対象)のWeb計算結果と一致する値(MJ/年)を入力してください。①ZEBチャートに反映されます。

2※(自動反映)

建物全体のWeb計算結果と一致する値を入力してください。
また、BEI値が0.8以下であることを確認してください。

3(自動反映)

エネルギー利用効率化設備(PV)を導入する場合、用途を選択してください。

4(自動反映)

「4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費)」の内容が自動反映されます。

28

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)C・D

C		1		2	
BEMS設備		計測データ粒度		管理点数合計	
		10 分単位		97 点	
		エネルギー計量点数		91 点	
		環境計測点数		6 点	

1(自動反映)

建物内の「消費エネルギーの内訳」の計測データ粒度を入力してください。
(1、5、10、15、30、60分から選択)
※補助対象建築物の「購入エネルギー量、創エネルギー量、売電量」の計測データ粒度は10分必須です。

2(自動反映)

管理点数合計はBEMS装置で管理している入出力点数の合計点数です。エネルギー計量点数や環境計測点数を含みません。設備機器で発停・状態監視・警報機能等をBEMS機能に付加している場合は1機器1点と算定してください。

D		1		1	
⑩WEBPRO未評価技術15項目		採用技術		採用技術	
		導入項目		導入項目	
① CO2濃度による外気量制御				⑩ ハイブリッド給湯システム等	
② 自然換気システム				⑪ 地中熱利用の高度化	
				-1. 給湯ヒートポンプ	
				-2. オープンループ方式	
				-3. 地中熱直接利用等	
③ 空調ポンプ制御の高度化				⑫ コージェネレーション設備の高度化	
				-1. 吸収冷凍機への蒸気利用	
				-2. 燃料電池	
				-3. エネルギーの面的利用等	
④ 空調ファン制御の高度化(VAV、適正容量分割等)				⑬ 自然採光システム	
				⑭ 超高効率変圧器	
				⑮ 熱回収ヒートポンプ	
⑤ 冷却塔ファン・インバータ制御					
⑥ 照明のゾーニング制御					
⑦ フリークーリング					
⑧ デシカント空調システム					
⑨ クール・ヒートトレッチシステム					

1(自動反映)

導入するWEBPRO未評価技術を選択してください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)E

E	
1	建築物のエネルギー特性 ・高断熱は傾斜地に立地し、建築物の北面を平地下として天然の断熱材で覆った。 ・事務所用途の建物であり、「空調」用、「照明」用のエネルギー消費量が全体の90%強を占めている。 ・高断熱ビルの前面には、平地と河川があり、季節、時間帯により季節風が発生するので、自然通風に利用が可能である。
2	ZEB実現のコンセプト 〇〇〇株式会社西支社ビルのZEB化を実現するため、第一に外皮性能の強化や自然の採光や自然通風等を活用したパッシブ建築設計により建物全体のエネルギー負荷低減を図る。 第二に、上記の取組みだけで賄えないエネルギー負荷については、高効率空調・照明・給湯設備の導入によって、さらなる省エネルギーの達成を図る。 省エネルギー技術の取組みでは、パッシブ技術としての①「自然換気システム」等や、アクティブ技術では、②「CO2濃度による外気量制御」等を採用し、ZEB化実現に大きく貢献をさせる。 これらに加えて、太陽光発電設備を導入し、さらなるZEB化を目指す。 また、BEMSの導入によりエネルギー消費実績を適切に把握・評価することで運用面での消費エネルギーの更なる削減に繋げる。 こうした省エネルギー取組みにより、温室効果ガス排出量が大幅に削減可能となる。地球環境保全の観点から、CSRへの貢献に大きく期待する。

1(自動反映)

以下の諸事項等を考慮して、建築物のエネルギー特性を概説してください。

- 外部環境／建物立地の特徴
- 建物用途によるエネルギー負荷特性
 - ・設備区分(空調・換気・照明・給湯・昇降機・その他(コンセント、冷凍・冷蔵設備、医療機器・他))ごとの負荷特性
 - ・1日における時間別負荷特性
 - ・1年における月別負荷特性

2(自動反映)

以下の諸事項等を考慮して、ZEB実現のコンセプトを概説してください。

- 採用を予定しているZEBの実現に資する省エネ技術
- 建築省エネルギー(パッシブ)技術
 - ・内部発熱削減技術
- 設備省エネルギー(アクティブ)技術
- 再生可能・未利用エネルギー利用システム
- システム制御技術
- ZEBによって得られるメリットの活用
 - ・経済性(光熱費の削減)
 - ・不動産価値の向上
 - ・環境性(快適環境の確保)
 - ・CSR(企業の社会的責任)
 - ・BCP(企業の継続性)
- 省エネルギー実施のためのエネルギー管理計画とPDCA活動

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(1)F

F

●ZEBの実現に資する省エネ項目									
省エネ項目		No	設備・システム名	方式等	システム概要(能力・性能・規模・他)			新既	補助
建築物エネルギー (パッシブ)技術		1	建物配管計画	地下化、半地下化	傾斜地に立地。1階北側を平地地下			新設	—
		2	高断熱化	断熱	グラスウール断熱材、24K、熱伝導率λ=0.038 W/(m・K)、厚み: 60mm			新設	該
		3	高断熱化	外壁	グラスウール断熱材、24K、熱伝導率λ=0.038 W/(m・K)、厚み: 100mm			新設	該
		4	高性能断熱ガラス	Low-E被覆ガラス(断熱ガス層)	E6+Ar12+FL8 (N・E・S・W面共)、熱貫流率 U=1.6W/(m ² ・K)、日射取得得率: 0.313			新設	該
		5	自然通風	風圧利用	アルミ縦断熱式手動換気装置 4階9ヶ所、塔置6ヶ所			新設	該
		6	自然採光	光ダクト	高反射散反射フィルム貼付プラスチックボード0.5t×3ヶ所			新設	該
内部発熱削減技術		1	特設電力カットシステム	—	防災用、防犯用や企業にとって重要な機器等を除き24.00～8.00時のコンセント開閉をOFF			新設	—
			—					—	
設備省エネルギー (アクティブ)技術	i 空調設備	1	高効率空調機	ビルマル(EHP)	冷房能力: 95.0kW、暖房能力: 106.0kW、定格COP=3.52、定格COPH=3.9、合計9台(室外機)、67台(室内機、人感センサー)			新設	該
			高効率空調機	パッケージエアコン	冷房能力: 7.1kW、暖房能力: 8.0kW、定格COP=4.36、定格COPH=4.79等、合計38台(室外機)、44台(室内機)			新設	該
			高効率空調機	全熱交換器	熱交換効率: 87%、合計18台			新設	該
			高効率空調機	全熱交換器組込型空調機	熱交換効率: 71%、合計7台			新設	該
		2	その他空調機器	デシカント空調	風量: 800m ³ /h、最大加湿能力: 3.82kg/h、最大除湿能力: 7.12kg/h、合計9台			新設	該
		3	外気利用・抑制システム	CO2温度外気量制御	画像センサーにより在室人数に応じて必要な外気取入量を制御、インバータ制御ファン、17台			新設	該
			外気利用・抑制システム	CO2温度外気量制御	1、3階事務室系統、エンタルピー制御、合計12系統			新設	該
			外気利用・抑制システム	熱回収ヒートポンプ	総合COP=8.3、1台			新設	—
		4	再エネルギーシステム	太陽熱利用システム	デシカント空調システムの吸着剤の再生熱源に利用			新設	—
	ii 換気設備 (機械換気)	1	インバータファン	ガス使用量連動制御システム	厨房換気系統、1系統、厨房用のガス使用量と連動して厨房換気量を制御、インバータ制御ファン: 2.2kW、2台			新設	該
	iii 照明設備 (人工照明)	1	LED照明器具	明るさ検知制御システム	事務室、食堂、ロビーなど、合計144台(内、在室検知制御併用34台、タイムスケジュール制御併用18台)			新設	該
			LED照明器具	在室検知制御システム	会議室、トイレ、廊下など、合計80台(内、明るさ検知制御併用34台)			新設	該
			LED照明器具	タイムスケジュール制御システム	事務室、廊下など、合計72台(内、明るさ検知制御併用18台)			新設	該
			LED照明器具	ゾーニング制御	廊下、ロビー、駐車場など、合計54台			新設	該
	iv 給湯設備	1	中央方式	地中熱利用システム(ヒートポンプ)	洗面所、給湯室、加熱能力: 15kW、定格COP=3.35、合計1台、貯湯槽500L			新設	該
	v 昇降機設備 (エレベータ)	1	常用	VVVF制御(電力発生あり)	1000kg、60m/min、1台			新設	—
	vi 変圧器設備	1	高効率変圧器	—	3 相 3 線 300 kVA 1 基	3 相 3 線 100 kVA 2 基	単相 2 線 150 kVA 1 基	新設	—
	vii その他 蓄電池設備	1	リチウムイオン電池	太陽光発電用	出力 20 kVA	蓄電容量 15 kWh	合数 1 基	新設	該
効率化設備	i コージェネ設備								
	ii 再生可能・未利用エネルギー 利用システム	1	太陽光発電	系統連系(売電しない)	出力 40.00 kW	PV面積 240.00 m ²	創エネ量 403.58 GJ/年	新設	—
		2	太陽熱収集装置	—	110m ² 、出力20MJ/H			新設	—

1(自動反映)

様式内の「入力シート2 参考資料」を参照のうえ入力してください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

3. システム提案概要(2)

A3カラー片面で印刷し、A4縦に折り込んでください。

1

2

3. システム提案概要(2) 令和3年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)実証事業

補助事業名 OOO株式会社岡山支店ZEB化事業

補助事業者名 OOO株式会社

①高断熱化

・屋根、外壁にグラスウール断熱材を導入

②高断熱ガラス

・Low-E複層ガラスを採用し、空調負荷を低減

③自然換気システム

・風圧利用した自然換気

④LED照明

・昼光センサーによる調光制御
・トイレ、階段は人感運動制御
・タイムスケジュール制御

⑤自然採光

・光ダクトによる昼光利用

⑥地中熱利用システム(HP)

・地中熱を熱源水に利用して省エネ

⑦高効率変圧器

・超高効率変圧器を採用

⑧CO2濃度による外気量制御

・画像センサーにより在室人数に応じた換気量制御

⑨全熱交換器

・外気利用システム: ナイトバージ

⑩太陽光発電パネル

・屋上に設置、削需連携蓄電池制御
・停電時BCP対策に利用

⑪BEMSの導入

<計測・記録項目>
・エネルギー計測、記録
電力重(照明・空調・コンセント・換気動力)
水・ガス・熱量などの計測
温湿度計測(外気、室内環境、冷温水など)
データのCSV出力
・未評価技術技術の効果計測

<省エネ制御項目>
③環境計測による自然換気制御
④⑪空調、照明のスケジュール制御
⑧画像センサーによる外気量制御

⑫照明のゾーニング制御

・タイムスケジュール制御により、3/4点灯以下に間引き点灯

⑬デシカント空調

・デシカント再生を太陽熱利用温水で行い省エネを図る。

⑭熱回収ヒートポンプ

・冷温水同時取り出し

⑮高効率空調機

・ビル用マルチエアコン
・パッケージエアコン

①太陽熱利用温水装置

②Low-E複層ガラス

③自然換気システム

④LED照明

⑤光ダクト

⑥地中熱利用

⑦超高効率変圧器

⑧CO2濃度による外気量制御

⑨全熱交換器

⑩太陽光発電パネル

⑪BEMSの導入

⑫照明のゾーニング制御

⑬デシカント空調

⑭熱回収ヒートポンプ

⑮高効率空調機

①太陽熱利用温水装置

②Low-E複層ガラス

③自然換気システム

④LED照明

⑤光ダクト

⑥地中熱利用

⑦超高効率変圧器

⑧CO2濃度による外気量制御

⑨全熱交換器

⑩太陽光発電パネル

⑪BEMSの導入

⑫照明のゾーニング制御

⑬デシカント空調

⑭熱回収ヒートポンプ

⑮高効率空調機

①太陽熱利用温水装置

②Low-E複層ガラス

③自然換気システム

④LED照明

⑤光ダクト

⑥地中熱利用

⑦超高効率変圧器

⑧CO2濃度による外気量制御

⑨全熱交換器

⑩太陽光発電パネル

⑪BEMSの導入

⑫照明のゾーニング制御

⑬デシカント空調

⑭熱回収ヒートポンプ

⑮高効率空調機

★印は未評価技術

* 上図は例であり、補助対象の可否を示すものではありません。

1(自動反映)

入力シートの内容が自動反映されます。

2

レイアウトは自由です。ただし、以下の項目は必ず作成してください。

- 【事業全体を示すシステム概念図】
事業全体の概要を示す概念図を作成してください。
ZEBに資する技術と未評価技術を網羅し、付番とともに概略の説明を枠囲みで付記してください。
未評価技術には★印をつけてください。
- 【外観写真、または外観パース】
外観写真、または外観パースを添付してください。
- 【BEMSの系統がわかるもの】
BEMS装置を活用したエネルギー管理計画の概念図を作成してください。
- * 補助対象設備は1年目:赤、2年目:青、3年目:緑
補助対象外設備は黒でマーキングしてください。
- * システム提案概要(1)と整合がとれていることを確認してください。
(仕様や台数を記載する必要はありません。)

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

4-1. 概略予算書(まとめ)

4-1. 概略予算書(まとめ) 令和3年度 交付申請時

(単位:円)

(全体)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	6,710,000	5,510,000	1,200,000
設備費	123,770,063	110,868,060	12,902,003
工事費	102,431,340	32,100,000	70,331,340
合計	232,911,403	148,478,060	84,433,343

蓄電システムの補助対象経費(全体)

補助対象経費(全体)に対する蓄電システムの割合

2

9,174,970

6.18%

▼ 各年度ごとの内訳

(1年目)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	6,710,000	5,510,000	1,200,000
設備費	123,770,063	110,868,060	12,902,003
工事費	102,431,340	32,100,000	70,331,340
合計	232,911,403	148,478,060	84,433,343

(2年目)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	0	0	0
設備費	0	0	0
工事費	0	0	0
合計	0	0	0

(3年目)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	0	0	0
設備費	0	0	0
工事費	0	0	0
合計	0	0	0

1(自動反映)

「4-3. 概略予算書(全体)」の内容が自動反映されます。

2

- 蓄電システムの補助対象経費(全体)を入力してください。
- 補助対象経費(全体)に対する蓄電システムの割合は、自動計算されます。補助対象経費(全体)の20%以下になっているか確認してください。
- 蓄電システムを導入しない場合は「0」を入力してください。

3(自動反映)

「4-4、5、6. 概略予算書」の各年度の内容が自動反映されます。

- ◆このシート「4-1. 概略予算書(まとめ)」内の〈補助事業に要する経費〉〈補助対象経費〉〈補助対象外経費〉の金額は、「概略予算書(全体)」、「(1年目)」、「(2年目)」、「(3年目)」各シートの合計欄から数式でリンクされています。
- ◆数式のリンクによって不都合が生じる場合は、シートの保護を解除して直接金額を入力してください。その際は、必ず各概略予算書の金額と一致していることを確認してください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費)

4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費) 令和3年度 交付申請時

(単位:円)

(全体)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	0	0	0
設備費	1,912,000	1,912,000	0
工事費	396,000	346,000	50,000
合計	2,308,000	2,258,000	50,000

▼各年度ごとの内訳

(1年目)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	0	0	0
設備費	1,912,000	1,912,000	0
工事費	396,000	346,000	50,000
合計	2,308,000	2,258,000	50,000

(2年目)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	0	0	0
設備費	0	0	0
工事費	0	0	0
合計	0	0	0

(3年目)

補助対象経費の区分	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助対象外経費
設計費	0	0	0
設備費	0	0	0
工事費	0	0	0
合計	0	0	0

1(自動反映)

「4-3. 概略予算書(全体)」のWEBPRO未評価技術15項目番号を入力した金額合計が自動反映されます。

2(自動反映)

「4-4. 5. 6. 概略予算書」の各年度のWEBPRO未評価技術15項目番号を入力した金額合計が自動反映されます。

- ◆このシート「4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費)」内の「補助事業に要する経費」「補助対象経費」「補助対象外経費」の金額は、「概略予算書(全体)」(1年目)、(2年目)、(3年目)各シートの合計欄から数式でリンクされています。
- ◆数式のリンクによって不都合が生じる場合は、シートの保護を解除して直接金額を入力してください。
その際は、必ず各概略予算書の金額と一致していることを確認してください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

4-3~6. 概略予算書(全体)(1年目)(2年目)(3年目) (集計)

1 4-3. 概略予算書 (全体)

区分	名称	型式	機器番号	WEBPRO 未評価技術 15項目番号	単位	補助事業に要する経費			交付申請時			備考	
						数量	金額	数量	金額	数量	金額		
(集計)													
2	I. 設計費	合計			式		6,710,000		5,510,000		1,200,000		
3	II. 設備費												
	1 通信機空調機の導入				式		17,036,000		17,036,000		0		
	2 照明機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	3 通信機換気の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	4 給湯機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	5 空調機の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	6 太陽光発電の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	7 BEMS機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	8 蓄電池の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	設備費 合計				5		123,770,063		110,868,060		12,902,003		
3	III. 工事費												
	1 通信機空調機の導入				式		7,895,340		1,816,000		6,079,340		
	2 照明機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	3 通信機換気の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	4 給湯機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	5 空調機の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	6 太陽光発電の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	7 BEMS機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	8 蓄電池の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	工事費 合計				5		102,431,340		32,100,000		70,331,340		
	総合計						232,911,403		148,478,060		84,433,343		
3	IV. 設備・工事費合計												
	1 通信機空調機の導入				式		24,931,340		18,852,000		6,079,340		
	2 照明機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	3 通信機換気の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	4 給湯機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	5 空調機の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	6 太陽光発電の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	7 BEMS機器の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	8 蓄電池の導入				式		X00,000,000		X00,000,000		X00,000,000		
	設備・工事費 合計						226,201,403		142,968,060		83,233,343		

1

以下のとおり作成してください。

【単年度事業の場合】

(全体)のみ作成

【2年度事業の場合】

(全体)(1年目)(2年目)を作成

【3年度事業の場合】

(全体)(1年目)(2年目)(3年目)を作成

2(自動反映)

「概略予算書(全体)(1年目)(2年目)(3年目)
(内訳) I. 設計費合計(本手引きP. 36)の入
力が自動反映されます。

3

II. 設備費、III. 工事費、II + III. 設備費
+ 工事費は全て同一の項目を入力してく
ださい。

【名称】

導入する設備名を1から順に付番をし、
設備用途ごとに分けて入力してください。

【単位】

入力した「名称」に合う単位を入力し
てください。

【単価】

入力不要です。

※工事部材については工事費へ計上してく
ださい。

4(自動反映)

「概略予算書(全体)(1年目)(2年目)(3年目)
(内訳)」で入力した各項目の小計が自動反映さ
れます。
設備費のみの場合は、工事費の金額欄に「0」を
入力してください。

5(自動反映)

本様式の II. 設備費と III. 工事費の各合
計、および各費用の総合計が自動計算さ
れます。

6(自動反映)

本様式の II. 設備費と III. 工事費の 4 の合計
が自動計算されます。

本様式の合計金額が「4-1. 概略予算書(まとめ)」(本手引きP.33)と
「4-2. 概略予算書(WEBPRO未評価技術15項目に係わる経費)」
(本手引きP.34)の各項目へ自動反映されます。

・行の挿入や削除等の編集の際は、リンクや数式にご注意ください。

・作成の都合でリンクを気にせず作成する場合は
「4-1. 概略予算書(まとめ)」と「4-2. 概略予算書(WEBPRO未
評価技術15項目に係わる経費)」の金額と必ず整合をとってください。

・金額は全て税抜きとし、小数点以下切り捨てとってください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

4-3~6. 概略予算書(全体)(1年目)(2年目)(3年目) (内訳)

4 - 3. 経路予算書（会社）										
得意	名称	型式	機器番号	WEBPDL 仕組番号	単位	補助事業に要する経費		交付申請時		備考
						数量	金額	数量	金額	
1※	(内訳)									
	1 称号									
	設計 1、図1 1組当りの仕様書の設計にかかる費用				冊	14,000	2,400,000	14,000	2,400,000	0 0
	設計 2、図1 1組当りの仕様書の建設工事調査費用				人・日	24,000	810,000	13,000	810,000	0 0
	設計 3、設計(建築士)作業(人)費				人・日	24,000	1,800,000	10	1,800,000	
	設計 4、設計料				式	900,000	900,000	0	0	1 900,000
	設計 5、技術料等経費				式	300,000	1,300,000	0	0	1 300,000
	設計 6、追加業務(省土評価費)*費用				式	500,000	1,500,000	1	500,000	
	設計費 合計						6,710,000		5,510,000	1,200,000
2	I. 設備費 II. 工事費									
	1 高圧幹線用 変電所の購入									
	1-1 日立マルチエフコンの導入									
	設備 全額文換機				台	128,000	20	2,560,000	20	2,560,000
	設備 インバータ室外機	KAA5002XX			台	345,000	27	9,315,000	27	9,315,000
	設備 天吊金庫内機	KAA4001XX			台	175,000	27	4,725,000	27	4,725,000
	設備 エレベーター	KAA4001XX			台	23,000	27	594,000	27	594,000
	設備 伝送線用集電ユニット	KAA0100X			台	50,000	2	100,000	2	100,000
	設備 導線用アダプタ	KAA011XX			台	13,000	30	390,000	30	390,000
	工事 内部配管パイプ工				m	930	300	279,000	0	300 279,000
3	工事 地上架設工				式	8,000	1	8,000	0	1 8,000
	工事 パンク配管(VP-20)工				m	390	270	105,300	0	270 105,300
	工事 地上架設工				式	31,590	1	31,590	0	1 31,590
	工事 天吊金庫工				式				0	285 219,450
	工事 電気設備工								96,000	
	工事 電気設備工						1	150,000		
	工事 電気設備工					4,000	1	800,000		
	工事 既存空調機及び既存排水装置					400,000	1	400,000	0	
	工事 既存空調機工				式	50,000	1	450,000	0	450,000
	工事 既存機械付工(式:天吊金庫)				式	35,000	30	1,050,000	30	1,050,000
3	工事 全額文換機設置付工事				式	35,000	30	1,050,000	30	1,050,000
	工事 天井補修費				㎡	15,000	30	450,000	0	30 450,000
	工事 仮設足場費				式	100,000	1	100,000	0	1 100,000
	工事 構工費				式	100,000	1	100,000	0	1 100,000
	工事 材料費				式	400,000	1	400,000	0	1 400,000
	工事 雑費費				式	50,000	1	100,000	0	2 100,000
	工事 天吊金庫費				㎡	15,000	30	450,000	0	30 450,000
	工事 電気設備工				式	100,000	1	100,000	0	1 100,000
	1-1 設備費 小計						15,124,000		15,124,000	
	1-1 工事費 小計						7,499,340		1,470,000	6,029,340
3	1-1 小計						22,623,340		16,594,000	6,029,340
	1-2 日立OZ2による外気温度制御									
	設備 OZ2センサー				① 台	22,000	20	440,000	20	440,000
	設備 OZ2センサー				② 台	38,000	20	720,000	20	720,000
	設備 室内気温度センサー				① 台	28,000	20	560,000	20	560,000
	設備 外気温度センサー	BBB013XX			① 台	192,000	1	192,000	1	192,000
	工事 制御配線他				① m	320	300	96,000	300	96,000
	工事 材料決済費				① 式	80,000	1	50,000	0	1 50,000
	工事 材料運搬費				① 式	250,000	1	250,000	1	250,000
	1-2 設備費 小計						1,912,000		1,912,000	
3	1-2 工事費 小計						396,000		346,000	50,000
	1-2 中計						2,308,000		2,258,000	50,000
	項目 設備費 合計						17,036,000		17,036,000	
	項目 工事費 合計						7,895,340		1,816,000	6,079,340
	項目 合計						24,931,340		18,852,000	6,079,340

※内訳の別項目箇所からコピー挿入はしないでください。項目ごとの総計が合わなくなります。

・補助対象経費 + 補助対象外経費 = 補助事業
に要する経費 となるように入力してください。

・「4-3～6. 概略予算書(集計)」と合わせて作成してください。

(全体)のみ作成

【2年度事業の場】

【2年度事業の場目】
(全休)(1年目)(2年

【3年度事業の場合】

【5年度事業の場合】
(会社)(1年目)(2年目)

(主体)(1年目)(2年目)(3年目)を作成

1(自動反映)

「BF」1.0相当の仕様の

「BEI 1.0相当の仕様の建築コスト積算費用」の
数量・金額は自動反映・計算されます。

1 ✖

「4-3～6. 概略予算書(集計)」の「I. 設計費」の内訳を入力してください。

プルダウンから選択してください。

導入する設備名を1から順に付番し、入力してください。

標準構成の型式とオプション品の型式を分けて記入してください。

オプション品は補助対象外に計上してください。

入力した「名称」に合う単位を入力してください。

半角数字で入力してください。

金額は全て税抜で入力し、小数点以下切り捨てで入力してください。

【数量(補助事業に要する経費・補助対象経費・補助対象外経費)】

半角数字で入力してください。

【金額(補助事業に要する経費・補助対象経費・補助

【対象外経費）】

自動計算された

【項目 合計】

補助対象設備の実施設計にかかる設計費は補助対象となります。

2

・「4-3～6. 概略予算書(集計)」の名称(本手引きP.35の 3 ごとのⅡ. 設備費とⅢ. 工事費の内訳を入力してください。

・「4-3~6. 概略予算書(集計)」の名称(本手引きP.35の3)を
各内訳の1行目に入力してください。

・各内訳の小計と合計は自動計算されます。

・各項目 I. 設計費と同様に入力してください。

3

〈WEBPRO未評価技術15項目の入力について〉

・必ず小項目で内訳予算書を作成してください。

・未評価技術を構築するためだけに必要となる設備費と工事費のみ【WEBPRO未評価技術15項目番号】をプルダウンから選択してください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

4-7. 参考見積書

1

自由書式		

1

「4-3～6. 概略予算書(全体)(1年目)(2年目)(3年目)(集計)/(内訳)」の作成根拠となる参考見積書を添付してください。

- ・年度別にまとめてください。
- ・工事項目ごとに「設備費」「工事費」を分け、さらに「補助対象」「補助対象外」の集計値を記入してください。
- ・補助対象部分のみではなく、補助対象外部分も含めた見積としてください。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

別添1 システム概念図

(別添1)

1

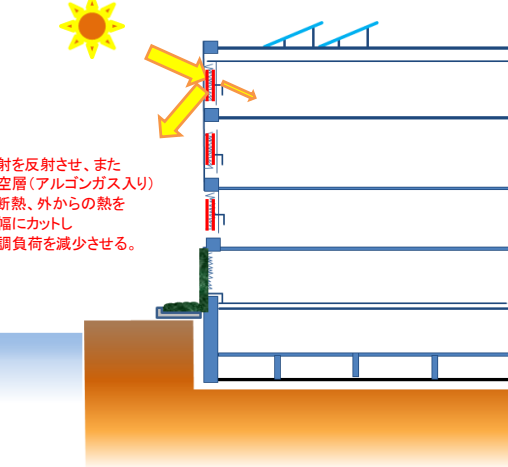
システム概念図

設備・システム名

Low-E複層ガラス

2

日射を反射させ、また中空層（アルゴンガス入り）で断熱、外からの熱を大幅にカットし空調負荷を減少させる。



高断熱Low-E膜

省エネ性能
熱貫流率 1.6W/(㎡K)

導入ガラス仕様
AW-1: E5+Ar12+FL5 日射遮蔽型 × 15
AW-2: E4+Ar12+FL4 日射遮蔽型 × 4

低放射ガラス (Low-Eガラス)

中空層 (アルゴンガス層12ミリ)

フロート板ガラス

乾燥剤入りスペーサー

高品質デュアルシール

室内側

メーカー資料より引用

システム提案概要(1)、(2)と整合がとれているか確認してください。

1
設備・システム名を入力してください。

2
システム提案概要(1)⑮ZEBの実現に資する省エネ技術の各項目とBEMS装置について概念、仕様、数量、範囲などを記入してください。

38

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

別添2 WEBPRO未評価技術15項目システム概念図

(別添2)

WEBPRO未評価技術15項目システム概念図

項目の種別	① CO2濃度による外気量制御
1	☒ 主たる室用途の床面積の過半に導入されている
2	☒ CO2濃度が設定しないときに外気導入量を増やすための制御ではない
導入要件	3
	4
	5
技術概要	
2	外気が負荷となっている場合に、室内の「CO2濃度」を基準に外気量をできる限り絞り、冷房・暖房負荷の軽減を図る。
制御の方法	3
	室内または、送気「CO2濃度」により、各MD(O.A. R.A. E.A)の比例制御を行う。 CO2濃度の設定値は、ビル管法で定められている「1,000PPM以下」という基準があるため、 基準を満たしている条件に於いて外気を最小とする。 最小外気取入れ量は、風量バランスを考え、「局所排気量」と同値とする。
導入の範囲	4
	全空調機を対象とする。(100%) WEBPRO 室仕様入力シートの空調計算対象室/主要室の比率参照
概念図	5
	【参照設計図名称】：空調設備 【図面番号】：M-07
評価方法	
(概要)	10分ごとのCSV計測データを利用し、以下のように評価を行う。 導入システムと仮想システムの一次エネルギー消費量の差を削減効果量とする。
6	(計測ポイント)(単位記号も記入) 外気温・湿度、給気温度、給気風量を計測、エンタルピー演算し、積算する。 空調機電力・給排気合計 (計算式)(計測単位記号、変換係数、単位記号も記入。計算結果は「MJ」になること) 外気カット効果期間＝[CO2センサ信号&空調機運転信号]成立時 但し、外気冷房中、ナイトバージ運転中、ウォーミングアップ中は省く 外気カット効果熱量＝外気カット効果期間中の外気エンタルピー－[給気エンタルピー]×風量 削減効果量＝[外気カット効果熱量]×[冷房(暖房)熱源原単位エネルギー] (一次エネルギー換算)

・システム提案概要(1)⑩WEBPRO未評価技術15項目の各項目について概念・制御・範囲評価などを記入してください。
・システム提案概要(1)、(2)と整合がとれているか確認してください。

1
導入要件を満たしているか確認しチェックを入れてください。

2
未評価技術の概要を記入してください。

3
未評価技術の制御内容を記入してください。

4
未評価技術の導入範囲を記入してください。系統数、対象とする面積の全体との割合も記入してください。

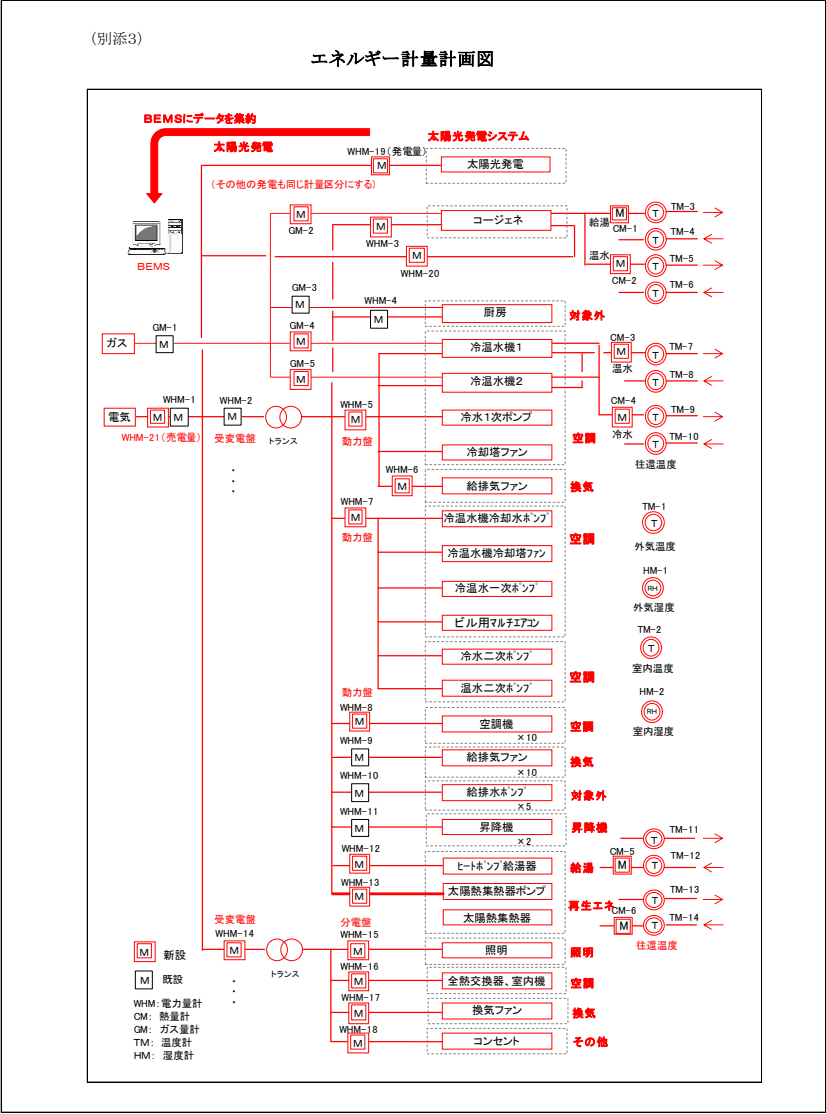
・評価すべき取組みの「主たる室用途の過半に導入」とはWEBPROの「主要室」の面積で判断してください。但し、照明のゾーニング制御は対象用途の全ての室面積で判断してください。
・評価すべき取組みの「総電動機出力の過半に導入」とは設備のWEBPRO計算入力シートの当該「定格消費電力」で判断してください。
(判断の根拠とした資料も添付してください。)

5
未評価技術の概念図を記入してください。設備図や計装図、また制御動作図も必要に応じて作成してください。評価に必要な計測、計量センサーも図示してください。

6
未評価技術の評価方法を記入してください。導入する技術の効果を単独で算出できるように検討してください。
計算結果は一次消費エネルギーの削減量、削減率はWeb計算結果の基準エネルギー合計(GJ/年)との比率です。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

別添3 エネルギー計量計画図



BEMSの要件(下記参照)を満たし、建物全体のエネルギーデータを計測できるようにしてください。また、実施状況報告に必要なデータを計測・保存できるような計量計画を行ってください。

- 【計測区分の考え方】**
- ・機器名称を参照し、計測区分を判断して区分別に計測値を集計してください。
 - ・コンセント接続機器は「その他」区分に限らず、可能な限り計測区分ごとに分割して計測してください。
 - ・コージェネレーションの排熱利用で給湯がある場合は「熱源」と「給湯」に分割して計測してください。
 - ・コージェネレーションの発電量は、自家消費の電力として「受発電」区分として計測してください。
 - ・省エネルギーの効果測定及び運用ができる計量・計測を行ってください。(電力計量の他、室内外の環境計測など)
 - ・エネルギー計量計画は上記によりますが、事業の内容に応じて実施内容を充実させてください。

- 【エネルギー計量計画図の書き方】**
- ・計量区分ごとに計量メーターを記入してください。
 - ・計量器には、記号・番号を記入例のとおりに入力してください。
 - ・BEMS管理点一覧等の図面と整合がとれるよう記入してください。

システム提案概要(1)、(2)と整合がとれているか確認してください。

- 【BEMSの要件】(公募要領P. 23参照)**
- ①計測・計量装置、制御装置、監視装置、データ保存・分析・診断装置を含むシステムであること。
 - ②1つのシステムで補助対象建築物1棟または、補助対象となる「建築物の一部」のエネルギー管理ができるシステムであること。
 - ③導入するWEBPRO未評価技術について、実施状況報告時に定量的な評価が可能となるようなエネルギー計測計画とすること。
 - ④補助事業完了後、実施状況報告時に建物全体または、補助対象となる「建築物の一部」のエネルギー使用量(計測・保存データ粒度10分を必須とすると、設備用途区分毎のエネルギー(電力・ガス・油等)使用量(計測・保存データ粒度は任意)を月単位で取りまとめ、報告できること。
 - ⑤SIIが用意するBEMSデータ報告サイト(公募要領P. 24参照)への報告に対応できる仕様であること。

4. 申請書類の作成 [4] 実施計画書

別添3 エネルギー計量計画図【参考】設備・計量区分一覧

WEBPRO 設備用途	BEMS 計量区分	主な機 器 名 称		エネルギー 種別	区分に含めない機器・設備 (WEBPRO計算対象外)
		機器名称	補機・関連機器類		
空 調	空 調	空冷ヒートポンプ	ブラインポンプ	電気	冷凍冷蔵用機器
		水冷式チラー		電気	熱供給事業用熱源設備
		ターボ冷凍機		電気	電算機室用設備
		ブラインターボ冷凍機		電気	厨房室の暖冷房設備(室外機)
		水蓄熱用空冷式ヒートポンプ		電気	実験室、動物園、水族館、博物館等で温熱環境や空気質を高度又は特殊に制御する必要がある設備
		水蓄熱水冷式チラー	溶液ポンプ、冷媒ポンプ	電気	プール・浴場等用加熱ボイラ
		吸収式冷凍機		電気、ガス、油	
		吸収冷温水機		電気、ガス、油	
		ボイラ	オイル・給水・薬注・真空ポンプ	電気、ガス、油	
		真空温水ヒータ	給水ポンプ	電気、ガス、油	
換 気	換 気	FF式暖房機	冷却水ポンプ、冷却塔、排熱ボイラ	電気、ガス、油	実験室、動物園、水族館、博物館等で温熱環境や空気質を高度又は特殊に制御する必要がある設備
		コージェネレーション		電気、ガス、油	
		地域熱供給		熱	
		冷水、温水一次ポンプ	薬注・循環ポンプ	電気	電算機室用設備
		冷水、温水二次ポンプ		電気	厨房室の暖冷房設備(室外機)
		冷却塔		電気	実験室、動物園、水族館、博物館等で温熱環境や空気質を高度又は特殊に制御する必要がある室及び設備
		冷却水ポンプ		電気	
		ビル用マルチエアコン(室内・外機)		電気、ガス	電算機室用設備
		ルームエアコン(室内・外機)		電気	厨房室の暖冷房設備(室外機)
		パッケージ型空調機(室内・外機)		電気	
給 湯	給 湯	ファンコイルユニット	送風、還気、排気、外気ファン	電気	電算機室用設備
		ファンコンベクタ		電気	厨房室の暖冷房設備
		エアハン		電気	実験室、動物園、水族館、博物館等で温熱環境や空気質を高度又は特殊に制御する必要がある室及び設備
		全熱交ユニット		電気	
		給気ファン		電気	スクラパー、ドラフトチェンバー用換気設備
		排気ファン		電気	機械式駐車場換気設備
		循環ファン		電気	蓄電池室、オイルタンク室用換気設備
		換気代替空調機		電気	電気室、エレベータ機械室用パッケージの室外機
		(電気室、エレベータ機械室など)		電気	非常用発電機室換気設備
		照明器具		電気	タスク照明(コンセント接続)
照 明	照 明				非常照明、誘導灯、航空障害灯、演色照明機器
					外部の照明器具(庭園灯、看板、駐車場灯など)
		電気温水器	循環ポンプ	電気	給茶器ボット、給茶機、自動販売機
		ヒートポンプ式給湯器		電気	給湯栓を有しない給湯設備(7号給湯器等)
		給湯ボイラ		電気、ガス、油	プール・浴場循環加温用給湯設備
		給湯・返湯ポンプ等		電気	(シャワー、洗面用途の設備は対象にしも良い)
		太陽熱給湯器	集熱ポンプ	熱	濾過ポンプ、濾過循環ポンプ
		コージェネレーション		電気、ガス、油	融雪ポンプ
			排熱ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔		
昇 降 機	昇 降 機	乗用・人荷・非常用エレベータ (巻胴式、油圧式、リニアモーター式等は省く)		電気	エスカレーター、小荷物専用・荷物用エレベータ
					機械式駐車場設備
		事務機器(PC、プリンター他)		電気	給排水・衛生設備、消火設備、厨房機器
		その他コンセント接続機器(注2参照)		電気	医療、実験、研究用等機器、放送設備
					ロードヒーティング(電気、温水ポンプ)
そ の 他	そ の 他				
対 象 外	対 象 外	常時使用されることが想定されないもの			
		WEBPRO計算対象外			

注)
1. 各機器の計量値は、可能な限り計量区分ごとに分割して入力する。
2. コンセント接続機器は「その他」区分に限らず、可能な限り空調、給湯などの計量区分ごとに分割して入力する。
3. コージェネレーションで排熱利用がある場合は「空調」と「給湯」に分割して入力する。

4. 申請書類の作成 [5] 図面

「建物図面」、「設計図」については、下表に基づいて作成してください。

< 建物図面 >

書類名	内容
建物案内図	建築物の住所、最寄駅からのアクセス、方位、道路及び目標となる建築物を明記する(地図はインターネットからの印刷でも可)
建物配置図	縮尺、方位、住所、敷地面積等を記入する 敷地境界線を示し、該当する建物を赤でマーキングし、申請に係わる建築物と他の建築物との区別を明示する
建物概要	場所、地域、敷地面積、建築面積、建物用途、工事種別、構造、階数、階別面積、延べ床面積を記入する 複数の用途を有する建築物の場合、用途別延べ床面積の一覧を添付する
建物平面図・各階平面図	方位、縮尺、室用途、名称、開口部位置、寸法、断熱材位置・種類・厚さを記入する
建物立面図	東西南北の四面、縮尺、階高と建物高さ、開口部仕様などを記入する
断面図または矩計図	室用途、各階の床高及び天井高、断熱材の種類及び厚さ、建具の位置及び種類、軒・庇などを記入する

< 設計図（機器表/系統図/平面図/仕様書等） >

書類名	内容
設計図	「⑬設計図」インデックス内に設備ごと(外皮(窓、ガラス)/外皮(断熱)/空調/換気/照明/給湯/コージェネ/太陽光発電/太陽熱集熱装置/電気設備/昇降機設備/BEMS/WEBPRO未評価技術15項目/蓄電システム)にインデックスをつけて書類(機器表、系統図、平面図、カタログ・仕様書 他)を整理する
	設計図、システム提案概要(1)(2)、概略予算書、(別添1)システム概念図、(別添2)WEBPRO未評価技術15項目システム概念図、(別添3)エネルギー計量計画図と整合をとる 注意:概略予算書とは、機器番号で紐づけること
	単年度事業は、補助対象の設備機器などを赤色でマーキングする
	・複数年度事業は補助対象の設備機器等を1年目:赤、2年目:青、3年目:緑 に色分けする ・複数年度事業で1年目に設備機器類だけ導入し、2年目以降に工事を行う場合は、機器表・機器リストを赤色、設計図の設備機器や配線・配管などを青色・緑色で色分けし、設計図に「工事のみ」と注記する ・補助対象外は黒色で記入する
	外皮(窓、ガラス)の設計図
	建具の配置、建具記号を記入する 建具の形状、寸法、材質、仕様等を記入する
	外皮(断熱)の設計図
	断熱材の位置を示し、凡例を付けて、その仕様を記入する 壁は各年度の補助対象を示す色の太線、天井、屋根はハッチングで記入する
	空調設備の設計図
	空調ゾーン、熱源、空調機並びにポンプ等の種別、仕様、台数、位置、系統、型式、機器番号、性能、制御方法などを記入する 「WEB計算入力シート__様式2-7 ③空調機タイプ」に対し入力した設備については、空調設備として図面を作成する
換気設備の設計図	給気機、排気機並びに換気代替空調機等の種別、仕様、型式、機器番号、台数、位置、系統、性能、制御方法などを記入する 「WEB計算入力シート__様式3 機械換気設備の入力シート」に対し入力した設備については、換気設備として図面を作成する
	照明設備の設計図
給湯設備の設計図	照明設備の種類、仕様、型式、機器番号、台数、消費電力、制御方法(調光・照度・人感センサ)、取付位置等を記入する WEB入力対象外器具は、「入力対象外」と明記する
	給湯設備の種類、仕様、型式、機器番号、台数、性能、位置、系統、構造などを記入する 節湯器具の採否及び太陽熱利用方法を記入する

4. 申請書類の作成 [5] 図面

< 設計図（機器表/系統図/平面図/仕様書等） >

書類名		内容
再エネ他の設計図	コージェネ	設備の種別、仕様、台数、位置、型式、機器番号などを記入する
		電力(入力及び発電利用先)と熱利用先(給湯、冷凍機の熱源)が記され、それらのエネルギー計量がされていることを記入する
	太陽光発電	設備の種別、パネル枚数、設置面積、出力(kW)、仕様、位置、接続状況等を記入する
	太陽熱収集装置	種別、数量、面積、集熱量、仕様、位置、型式、機器番号、構造等を記入する
電気設備の設計図	トランス	その他ZEBに資する設備等及び装置の種別、台数及び性能、全体の単線結線図を作成する（再エネ他、蓄電システムを含む）
	負荷側設備	分電盤・動力盤・インバーター盤の結線図を添付する
昇降機設備の設計図		型式、機器番号、台数、積載量、速度、設置位置、構造、速度制御方式等を記入する
BEMS設計図		BEMSを介して実施している各機器の制御内容を記入する
		機能一覧、監視点一覧、機器仕様等を記入する
		システム構成、装置参考姿図、ZEBに資する設備の計装図、動作説明図を作成する
		BEMS本体やセンサー、配線等を記入する
		BEMSの要件(公募要領P.23)を満たす機能や仕様を確認できる書類を添付する
WEBPRO未評価技術15項目の設計図		WEBPRO未評価技術ごとの計装図、動作説明、計測・計量点などを記入する
		対象設備、センサー、配線等を記入する
		効果を評価する計測・計量計画、評価の計算式、実行周期等を記入する
		未評価技術に該当する箇所は、二重枠にてマーキングする
蓄電システムの設計図		蓄電池の種別、型番(パッケージ型番を含む)、出力(kW)、容量(kWh)、仕様、性能などを記入する
		再生可能エネルギー発電設備と蓄電システムの接続状況がわかる図面を作成する
		縮尺、蓄電池の位置、台数、再生可能エネルギー発電設備との連携状況を記入する
カタログ・仕様書		カタログ・仕様書の該当ページ・関連ページを抜粋の上、該当設備の機器番号を記すとともに、マーキングして明示する(各設備のインデックス内に添付すること)

5. 交付申請書の提出

(1) 申請書類の確認

本手引きを参照し、また、「提出書類チェックシート」を用いて、書類の不備(誤字脱字、記載内容の間違い、入力もれ、文字切れ、フォーマット崩れ、添付忘れ等)がないか、入念に確認してください。

(2) ファイリング

以下のようにファイリングしてください。

- ・背表紙： 年度、補助金名、補助事業名、「交付申請書」、申請者名、「正(または副)」を明記する。
 - * 補助金名は「令和3年度 住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業)」としてください。
 - * SIIホームページ(公募情報ページ)に掲載されている「交付申請書用_背表紙・インデックス」を印刷して使用してください。

・表紙： 補助事業名、「交付申請書」、申請者名を明記する。

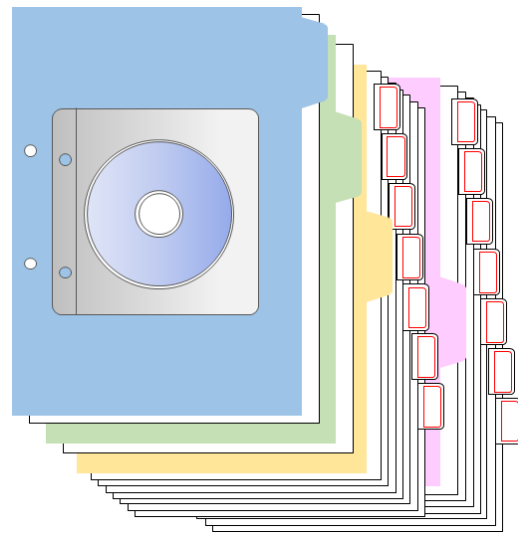
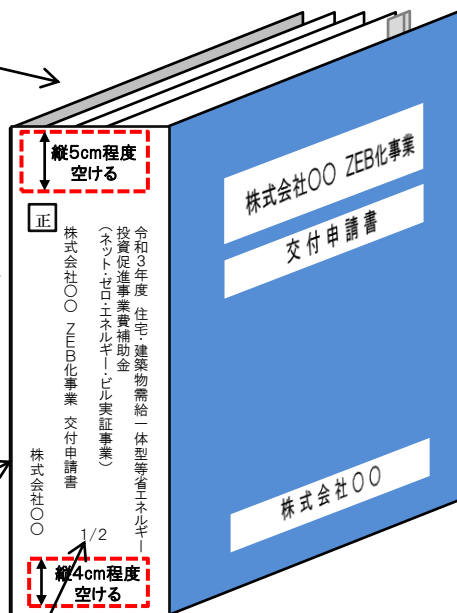
・インデックス付の中仕切りを入れる。

A4版ファイル(2穴、ハードタイプ)を使用してください。
紙ファイル、リングファイル、袋ファイルは不可。

「正」「副」を作成し
「正」をSIIへ提出します。
「副」は申請書類一式の
写しとし、必ず手元に
保管してください。

申請書類に対して、容量
に余裕のあるファイルを
使用してください。
綴じ具が外れたり、破損
したりする恐れがあります。

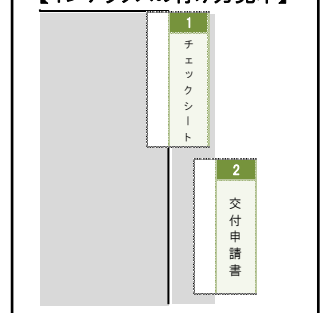
複数のファイルに分けて
も構いません。
その場合は全てのファイ
ルに指定通りの背表紙を
つけ、1/2、2/2などと、
全冊数と順序が分かるよ
うにしてください。



- ・本手引きP.4～6を参考に、各書類の間に中仕切りを付けてください。
- ・インデックスを上下重ならないように中仕切りに付けてください。
 - * SIIホームページ(公募情報ページ)から「交付申請書用_背表紙・インデックス」がダウンロードできます。記載内容が同じであれば、他のインデックスを使用してもかまいません。

- ・該当書類が不要な項目のインデックスも必ず作成し、インデックスの次に「該当なし」と明記した用紙を綴じてください。

【インデックスの付け方見本】



5. 交付申請書の提出

(3) 交付申請書の提出(ファイル送付)

交付申請書ファイルを期日までにSIIへ送付してください。

【送付先】

〒104-0061

東京都中央区銀座2-16-7 恒産第3ビル7階

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 事業第2部 ZEB担当宛

交付申請書提出締切
2021年6月9日(水)
17:00必着

「交付申請書在中」

* 朱書きで「交付申請書在中」と記入してください。

発送の注意事項

- * 申請者がSIIに送付する申請書は「信書」に該当するものが含まれることから、郵便物・信書便物以外の荷物扱いで発送できないので注意してください。
- * 1申請ごとに送付してください。
- * **申請書の持込みは受理しませんので注意してください。**
- * 送付宛先には略称「SII」を使用しないでください。
- * SIIでは「申請書類が届いたか」等、申請書到着に関するお問い合わせへの対応はできかねますので、必ず各自で配送状況が確認できる手段(簡易書留等)で送付してください。

◆問い合わせ先

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 事業第2部
ZEBお問い合わせ窓口

TEL: 03-5565-4063

電話受付時間 10:00~12:00、13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

